



B.O.M. newsletter

BLUE GRASS & OLD TIME MUSIC

6-5-18 Kawano, Takarazuka, Hyogo 665 Japan. Phone.0797-87-0561. Fax.0797-86

Bluegrass
PICK IT UP!



B.O.M. Newsletter #410

2014 年 12 月 15 日

すばらしく質の高いアルバムが次々と発表される最近の米国ブルーグラス界。ノーム・ビケルニーがIBMA基調演説(ムーンシャイナー誌5月~7月号の3ヶ月連載で完訳)で述べたように、ブルーグラスほど「オーガニックで、ハンドメイドで、職人芸を味わえる音楽」がほかにあるでしょうか?

われわれの音楽は「切り貼りのきく」一過性の消耗品ではありません。前世から次世代につながっていく伝統音楽なんです。ネットの便利さは享受してもいいでしょうが、本質を忘れてはいけません。われわれはそんな素晴らしい音楽を、全身全霊を込めて次々と送り出してくれるミュージシャンにキッチリと応えるべきだと思います。

...Buy studio releases and go to live shows!!

なお、12月ということで巻末に、2014年のBOMベストセラーほか、IBMAアワード受賞作、そして2015年グラミー賞ノミネート作品などを紹介しています。今年1年のブルーグラス音楽界、すごい充実ぶりですよ。チェック、よろしく……!?

■月刊ブルーグラスジャーナル「ムーンシャイナー」

先月から第32巻、32年目になりました! みなさんのサポートがあってこそです。ありがとう!!

最新12月号は、「ビル・モンロー初来日から40年大特集!」と銘打って、1974年と75年のともに12月、当時のバンジョー奏者だったボブ・ブラックの思い出や、読者の皆さんから寄せられた(場所、日時を問わない)それぞれの邂逅「あなたはビル・モンローを見た……!」特集の第一弾(まだまだ続きますので、さらなるご寄稿を待ってます!)ほか、いとうせいこう氏が「めくるめくこの弦の嵐!」と賛辞を贈ったTARO & JORDANの2ndアルバム「初心」へのインタビュー、若手バンジョー小寺拓実クンの見たIBMAワールドオ

ブブルーグラス2015レポート、小野田浩士のバンジョー巡礼の旅最終回は「チャーリー・クッシュマン家訪問」でブリウォーフラットヘッドのトーン比べ、徳島ブルーグラスライブの10年とバンジョーコンチェルトで知られるティム・レイク来日、夫婦デュオの元祖ルルベル&スコッティ物語、小林公恵のウィンディシティ便り「納屋を舞台のローカルフェス」、名古屋大学の洞山遥佳さんなどの特集ほか、ブルーグラスだけの月刊誌ですよ!

月刊ムーンシャイナー定期購読は1年間(12冊)¥6,300- 半年間(6冊)¥3,450-。単冊¥540- (+送料¥78-)。定期購読は購読開始希望月をお知らせくださいば早速お送りします!! また情報提供、そしてご自由なテーマでのご寄稿など……、なにとぞムーンシャイナーにご協力を、よろしくお願いします!

ムーンシャイナー1月号ではベラ・フレックのIBMA基調演説や「ビル・モンロー初来日から40年代特集~アナタはビル・モンローを見た...!? その②」(寄稿募集中!)ほかの特集です。お楽しみに……!

■全国イベント・カレンダー

以下、ムーンシャイナー誌12月号に寄せられたイベントです。なお、ここに掲載するのは、個別バンドのライブでは来日および国内バンドの遠征ツアーのみ、ローカルではフェスやコンサートなど企画物イベントのみです。それ以外のライブなどはムーンシャイナー誌をご参照ください。

◆ラッシー

ノスタルジックなギター/オートハープ夫婦デュオ

12月7日(日) 西宮、壱服庵 0798-51-0210

12月19日(金) 京都、ビンセント 075-441-3312

12月21日(日) 石橋、アビリーン 072-762-5353

1月4日(日) 西宮、壱服庵 0798-51-0210

1月10日(土) 西宮、アミティーホール「TNK カントリーダンス新春パーティー」

1月11日(日) 千日前、アナザードリーム 06-6211-5759

(問) 安田佳民 yoshitami-yasuda@purple.plala.or.jp

◆ザ・キャッシュ (TheCASH)

井上太郎、琵琶子、瀬川信二のトリオ。

12月9日(火) 福島、会津稽古堂生涯学習総合センター。

(問) K.N.C 0242-22-4349

12月10日(水) 新潟、ソクラテス 20時開演

12月13日(土) 茨城、ひたちなか文化会館 Swing(029-274-2739)

◆やぎたこ

ルーラルアメリカンな男女オールタイム・デュオ

12月12日(金) 関、Rock'n Roll Cafe'(090-3424-2760)

12月13日(土) 美濃加茂、ワンダーランド 0574-25-2281

12月18日(木) 高円寺、稲生座 03-3336-4480。with あおやぎとしひろ・くみこ

12月19日(金) 大和市、善南座 090-7704-4871

12月20日(土) 松本、マイシャトー 0263-86-0959

12月21日(日) 横浜、BG's(045-878-8310)

12月26日(金) 横浜、across the Borderline

1月10日(土) 土浦、すのつぶ 029-824-0903

1月11日(日) 越谷、おーんどタイム 048-971-1812

1月14日(水) 東中野、じみへん 090-9242-6183

総合(問) yanagi_yagitako@yahoo.co.jp

◆松山ブルーグラス会ライブ&ジャム

12月25日(木) 松山、Y's Cafe(089-933-5075)。19時半

1月5日(月) 松山、スタジオ owl(089-941-0036) 19時

◆12月14日(日) 愛知「名古屋大学ブルーグラス第7回定期演奏会」名古屋、愛知芸術文化センター小ホール。

15時。(問) meidai_bluegrass@yahoo.co.jp

62-5353

◆ティム・レイク 6年ぶり、徳島への帰郷ツアー

12月21日(日) 徳島、しらさぎ食堂 2F びっくりホール 088-626-1903。「第20回徳島ブルーグラス・ライブ」

10時、¥1000- (問) thirtygrassboys@mail.goo.ne.jp

12月28日(日) 香川、高松「An's Cafe」087-835-0198

12月29日(月) 高知、「Cafe and Dining zero」088-803-7080。「サウスランド・ジャンボリー Vol.2」18時

総合(問) 070-5680-1175 lfsbgband@gmail.com

◆12月21日(日) 徳島「第20回徳島ブルーグラス・ライブ」10時、¥1000-。参加募集中。(問) 島田 090-1175-0019, thirtygrassboys@mail.goo.ne.jp

◆12月27日(土) 東京「<BG サタデー・ナイト>ハニー・クッキーズ/パーク・アット・ア・レイン(バカ

タレ)from 北大」銀座、ロッキー・トップ 03-3571-1955

◆12月28日(日) 東京「ブルーグラス忘年ジャム会」銀座、ロッキー・トップ 03-3571-1955。どなたも大歓迎!

955

◆1月10日(土) 兵庫「冬フェス前哨戦:ニュー・イースト (from Tokyo) /千日前ブルーグラス・アルバム・バンド」西宮、ダートマスカラブ (0798-66-4911)

◆1月11日(日) 大阪「冬フェス 2015」難波千日前アナザードリーム (06-6211-5759)。10am ~、¥2,500-(D別)。関西のみならず、中国、四国、関東から50バンド超

◆1月12日(祝) 東京「2015 小平ブルーグラスコンサート」小平中央公民館ホール。12:30 ~、¥1,000-。関東地方の精鋭ブルーグラス集合。(問) ササキジン 090-3917-3672

【2015年 バンジョーカレンダー入荷!】
BJC-2015 BANJO CALENDAR Photo-Book (本

体 ¥2,750-) ¥2,970-

今年も出ましたバンジョーカレンダー! 現在製作をつづけている大小バンジョーメーカー12社が自慢の逸品を提供、毎月LPサイズの見開きサイズ(広げれば30cm X 60cm)で迫力あるバンジョーを楽しみながら重要なバンジョー史にも触れられている。毎日の予定を書き込めるスペースもゆったり、バンジョーが大ブレイクした19世紀後半のビクトリア調の系譜を引くデザインやインレイも多い美しいバンジョーを眺めながら1年を楽しく過ごしませんか!? ……ギブソンはないよ。でも、バンジョーファン皆さんにお薦めできる楽しいカレンダーです!!

リビングルームピッカーに朗報!!

【B.O.M. サービス新製品!】

MFD-0206 ジミー赤澤『Bluegrass Fiddle Minus One』CD+Book (本体 ¥3,000-) ¥3,240-

MFD-0207 ジミー赤澤『Bluegrass Banjo Minus One』CD+Book (本体 ¥3,000-) ¥3,240-

MFD-0208 ジミー赤澤『Bluegrass Mandolin Minus One』CD+Book (本体 ¥3,000-) ¥3,240-

(収録曲) Happy Sunny Side of Life/Foggy Mountain Breakdown/Footprints In The Snow/East Tennessee Blues/Salty Dog Blues/Ragtime Annie/I Wonder Where You're Tonight/Shenandoh Breakdown/Can't You Here Me Calling/Smith's Reel/Sitting on Top of the World/Big Mon/Blue Night

関西ブルーグラスのマルチプレイヤー、ジミー赤澤こ

と赤澤孝次郎による各フィドル、バンジョー、マンドリン向けの最新「マイナスイワン」教則作品。36頁ブックレットには全13曲のタブ譜(フィドルのみ楽譜併記)/歌詞、CDには全13曲と39トラックにフルバンドのデモ演奏/対象楽器のみのソロ演奏/対象楽器を抜いたカラオケ演奏が収められている。本人曰く、「至れり尽くせり！」でひとり楽器練習、バンド練習に励めるという作品。10歳でギターをはじめ、12歳でバンジョー、23歳でフィドルをはじめたという「じみい」、独学でレコードから努力を重ねて学んだノウハウをブルーグラスのスタンダード13曲、ビル・モンロー系曲を多く配した曲で中級者を想定したソロを学べるように創られた教則もの。

今月のサブさん特選作品

(ムーンシャイナー編集長一押しダイジェスト)

～今年 CD 発表した日本アーティスト～

借り物ではない、自分たちのブルーグラスを創り、次の世代に伝えたいと強く思う。

JMD-002A TARO & JORDAN 『初心 (Shoshin)』 CD (本体 ¥2,000-) ¥2,160-

いとうせいこう氏が「めくるめくこの弦の嵐！」と賛辞を贈った、マンドリン(井上太郎)とギター(ジョーダン・マコンネル)のインストデュオ第2作。2012年のデビューアルバム『Did I Laugh in Your Dream?』(¥2,160-)も好評発売中。ムーンシャイナー12月号特集参照。

OTCR-007 PIRATES CANOE 『For the Pain In My Heart』 CD (本体 ¥2,000-) ¥2,160-

京都を本拠に活躍するギター、マンドリン、フィドルの女性3人トリオとドブプロ、ベース、ドラムスの6人組によるアメリカーナ風バンド最新作。英詩オリジナルにすばらしいバックバンド、これまでで最高の出来だろう。

BSOL-002 BLUESIDE OF LONESOME 『Take Me In Your Lifeboat』 CD (本体 ¥926-) ¥1,000-

横浜を本拠に活動する笹部益生を中心に、ベテラン加藤保久、早川流吉、手島昭英に若者、手島宏夢で結成されたブルーグラスバンドの最新第2作は、坂本愛江の女性ボーカルをフィーチャーしたミニアルバム。第1作『Let Us Travel On』(¥1,000-)も好評発売中。ムーンシャイナー2月号特集参照

HCR-001 HONEY COOKIES 『Where is My Honey?』 CD (本体 ¥1,388-) ¥1,500-

関東をベースに活躍する若手ブルーグラストリオ、ハニークッキーズの初フルアルバム。フラットピッカーと

して知られる手塚洋輔と妻の里美(bs)、手島宏夢(fd)のトリオにゲストとしてドブプロ小島慎司が1曲参加。オリジナル6曲にトラッドとハートフォードカバーなど。ムーンシャイナー10月号特集参照

JRLA-0007 バンジョーアイ 『唄の島 (Isle of Song)』 CD (本体 ¥953-) ¥1,029-

沖縄のアイドル系シンガーソングライターがアール・スクラッグスに心酔、「唄の島」「沖縄ブレイクダウン」「佐敷 Road」「ていんさぐぬ花 - 沖縄民謡 -」の4曲入りデビューミニアルバム。沖縄TVの飲酒運転撲滅キャンペーンソングやJTA日本トランスオーシャン航空の機内放送に起用されるなど、ブルーグラスプロモーションに大貢献中！ ムーンシャイナー3月号特集参照

MR-1291 LEONA 『Love and Peace, Leona』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

イーストテネシー在住のフィドル・レオナこと、レオナ徳武マシスのセカンドアルバム。夫J.P.マシスのバンジョーとETSU仲間の協力で全曲オリジナル11曲。ムーンシャイナー5月号特集参照

MSKY-14001 AKIO OKUSAWA & MARMALADE SKY (本体 ¥2315-) ¥2,500-

テキーラ・サーキット、ミュール・プロジェクトでもお馴染み奥沢明雄を中心に長きに亘り日本の音楽シーンを支えてきた強者たちが結集、ウエストコーストの香りブンブンの日本語オリジナルによるママーレード・スカイの1stアルバム。ムーンシャイナー1月号(MS-3203)にてインタビュー予定。詳細次号にて。12月19日発売

～特選クリスマス (ホリデイ) 集～

やっぱり今月も紹介しないとネ。大人になっても、なんだか嬉しいクリスマス……。

THR-4121 CLAIRE LYNCH BAND 『Holiday』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

マット・ウインゲート(gt)とブライアン・マクドウェル(fd,md)という超上級に凄い若手プレイヤーを擁するクレア・リンチ・バンド、ベース奏者のマーク・シャッツとともに究極のアコースティックアンサンブルに乗って、いつもでも可憐な舌ったらずなチョー可愛いボーカルを聴かせてくれるクリスマス作品(近年は非クリスマスチャンも考慮して「ホリデイ」作品と呼ぶ。本作にもユダヤ教のハヌカーも含んでいる)。クリスマススタンダードをスウィングに料理したアコースティッククリスマス秀作大推薦!! 心とむ、素晴らしいホリデイ作品である。

RCH-2016 V.A. 『Christmas The Mountain Way』

CD+DVD (本体 ¥2,750-) ¥2,970-

Joy to the World/Silent Night/In the Sweet By and By/Away in the Manger/Go Tell It on the Mountain/Amazing Grace/Jingle Bells 他全 14 曲

ブルーグラスクリスマスの DVD 映像と CD 音源のお徳用セット！ 昨年 10 月に来日したマイク・スコットをホストに、5 度の IBMA 最優秀女性ボーカルを獲得したデイル・アン・ブラッドリーや、ドイル・ローソンのクイックシルバーからマウンテンハート、グラスタウンなどを創ってきたスティーブ・ガリー、アーリーブルーグラスの名曲発掘でトラッドグラスの王道を主張するオウディ・ブレイロック、人気カントリーグループのシェナンドーから古巣のブルーグラスに戻ってきたマーティ・レイボンなどのボーカルを、ブルーハイウェイのジェイソン・パールソン (bj,g) ほか、クリント・ハード (m)、ブランドン・ゴッドマン (f)、ビック・グレイヴズ (d)、ブライアン・ターナー (bs) らが基本バンドで、ケンタッキー州パインビルのベルシアターでケーブル TV 局「ブルーハイウェイ TV」のために収録されたクリスマス特別番組を音と映像（コンサートとアーティスト・インタビューも含む）で収めた徳用盤である。デイルアンとスティーブによるタイトル曲につづいて "Joy to the World" から "Silent Night" ほか、次々とクリスマスやゴスペルのスタンダード 14 曲がブルーグラスで演じられる音と映像で楽しめる作品。

新入荷リスト

■ニュースレター #410 新入荷ダイジェスト

(ブルーグラス新入荷)

WR-8336 MAC WISEMAN 『Songs from My Mother's Hand』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

「心からの歌声 (Voice with a Heart)」と称されるマック・ワイズマンが 89 歳にして、おそらく生涯最高傑作を発表した。しかも、23 歳のシエラ・ハルとのデュエットをはじめ、シエラのもっとも信頼するひとり、若きマルチプレイヤーのジャスティン・モーゼズ、ナッシュビルの大ベテラン・プロデューサーとドイツ生まれの気鋭のプロデューサー、ジミー・キャップスとトム・ジャッツのデリケートなギターにマーク・フェインのベース。そこにジェリー・ロール・ジョンソンのハーモニカとアリサ・ジョーンズのハンマーダルシマを加えつつ聴かせる、マックが母から学んだアメリカンフォークソング名曲集。"Blue Ridge Mountain Blues" からはじまり、"You're a Flower Blooming in the Wildwood"、"谷間の

ともしび」と知られる "When It's Lamp Lighting Time in the Vally"、あの名曲へのアンサーソング "Answer to Weeping Willow"、"Rosewood Casket"、そして "I Heard My Mother Call My Name in Prayer" や "Will There Be Any Stars in My Crown" ほか、感動的な全 12 曲、メチャクチャいいアルバムである。ブルーグラス新入荷にて

MCR-1002 LARRY CORDLE & LONESOME STANDARD TIME 『All Star Duets』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

なんだこれは！ ガース・ブルックス、アリソン・クラウス、リッキー・スキヤッグス、ケニー・チェズニー、ダークス・ベントリー、トリーシャ・イヤード、キャシー・マティア、デル・マッカーリーほか、カントリー界のスーパースターばかりがズラっ！とラリー・コードルとデュエットする。こんなメンツを一堂に集めることができるのは、さすが、総計 5 千 5 百万枚という売り上げを誇るソングライティングの力だろう。バックにはグラスカルズのクリスティン・スコット・ベンソン、ギターにブライアン・サットン、マンドリンにはアンディ・レフトウィッチ／クリス・デイビス、強力フィドルのジェネイ・フリーノア／ティム・クロウチ、ドブロにはキム・ガードナー／ランディ・コアズ……。超豪華カントリースーパースターによるブルーグラス作品。ブルーグラス新入荷参照

ROU-3626 BELA FLECK & ABIGAIL WASHBURN CD (歌詞付き (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ベラとアビゲイルのフレック夫妻、愛息ジュノのために愛情いっぱい込めて創られたフレック家の宝物のような作品。フォスターの「草競馬」を隠れテーマにした "(I've Been Workin' on the) Railroad" を 1 曲目に "Pretty Polly" や "What Are They Doing in Heaven Today?" などのトラッド。ベラが書いたバンダアチェと東日本大震災津波をテーマにした歌曲 (ベラも歌う！) を含む凄くオリジナル 3 曲に、バルトーク「子供のために」のクラシック、そしてアビーのトラッドに沿った素晴らしいオリジナル 4 曲 (ベラとの共作 2 曲を含む)。アビーのボーカル力に込められた子供世代への強いメッセージとあの RB-75 はもちろん、バリトンバンジョーやチェロバンジョーほか、さまざまなバンジョーを駆使した刺激的な音の世界。ふたりの、世界的な才能を存分に楽しむことができる凄くいいアルバムだ。ボーカルものではあるが詳細解説は、そのあまりにも美しいトーンに敬意を表してインスト物新入荷にて

RGMCD-119 FLATT & SCRUGGS 『7 Classic Albums plus Bonus Singles』 CD 4枚組 (本体 ¥2,750-) ¥2,970-

現在入手不能のあのバンジョー経典『Foggy Mountain Banjo』を含むフラット&スクラッグスのLPアルバム7枚を発売順に収め、さらにシングル発売された13曲をプラスした4枚組CD超廉価盤全92曲集。すでに音源を持つる人にもぜひともお薦めしたい、ブルーグラスをなんとかポップにしようとしたフラット&スクラッグスの前半期。詳細はブルーグラス新入荷にて。

RDR-03 DONNA HUGHES 『From the Heart』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

アリソン・クラウスの“My Poor Old Heart”やセルダムシーン“Sad Old Train”などの作者でもあるドナ・ヒューズの最新ソロ第5作。そのシンプルな曲名からも知れるようにかなりストレートな社会的メッセージを届けているようで、ウェブサイトにも「Changing the World with a Song」とある通り、メチャクチャ聴き応えのある詩と曲に感服だ。スコット・ベスタル (bj)、ティム・スタッフォード (gt)、ロブ・アイクス (db)、コリー・ピアット (md)、めっちゃ凄いや女性ジェネイ・フリーノア (fd, harmony) ら申し分ないエース達のバックアップで21曲中19曲 (トム・ペティ “Lucky” とゴスペル “I’ll Fly Away” 以外) がオリジナル。2006年にはトニー・ライスのプロデュースでラウンダーから全米デビューもした優れたシンガーソングライター。ブルーグラス新入荷にて

PC-1192 PHIL LEADBETTER 『The Next Move』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

今年、2度目のIBMAアワード最優秀ドブロを獲得したフィル・レッドベター (52) の3枚目のソロ最新作は超豪華なドリカム作品。2011年、ホジキンリンパ腫と診断され入院したときに共演したいリストを作成、1年半後に復帰したときから録音をはじめたという本作、ジョン・カウワンのボーカルにサム・ブッシュのチョップが煽る、まさにニューグラスリバイバル! の1曲目から次々と大物ゲストとの共演。インストではドブロ曲 “Just Joshin” でジェリー・ダグラスとロブ・アイクスとのトリプルドブロ! またスウィング定番 “Sweet Georgia Brown” ではベラ・フレックとバック・ホワイトといった「えっ!」と驚きの嬉しい共演など、押し出しの強いカントリー系ボーカル (マーティ・レイボン & ジョー・ディフィ、スティーブ・ウォーリナー、ケン・メロンズ、コン・ハンリーら新旧のカントリースターたちやスティーブ・ガリー & デイル・アン・ブラッドリー

やショーン・キャンプ) に囲まれながら、楽しい作品に仕上がっている。ブルーグラス新入荷にて

CTR-0044 SHAWN LANE 『Mountain Songs』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ブルーハイウェイのマンドリンとフィドル担当のショーン・レーン、ソロとしては第2作になる最新作。パット・ウェイジズまたはジョッシュ・ミラー (bj)、ロブ・アイクスまたはジミー・スチュワート (d)、バリー・ペイルズまたはマークス・スミス (bj) という自身の地元中心の人選で「山」をテーマにストレートに自分の出自と音楽を聴かせる。厳しいアパラチア「山の生活」をテーマにした12曲中10曲がオリジナルといった作品、21世紀を迎えても南部アパラチア山岳地帯に連綿とつづく伝承音楽のパワーの一端を、基本的にはブルーハイウェイと同様のモダンなブルーグラスサウンドで聴かせる作品。ブルーグラス新入荷参照

BB-2014 BECKY BULLER 『Tween Earth and Sky』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

女子大生が飛びつきそうな可愛いキャッチーな1曲目 (ほんでバックは、ロン・ブロックやケニー・スミスらによるハイテクブレイクの連続……) から、全編にブルーグラス出身女性シンガーソングライターらしいタッチと、素晴らしいフィドラーとしての資質から生まれるトラッドに根ざした現代ブルーグラス、ベッキー・ブラー最新第3作。全体にアパラチアの感情をまとうて、そのまんまのサム・ブッシュ・バンドやティム・オブライエン & ブライアン・サットンらも参加、中でも唯一のカバー、1988年に第1回グラミー賞ブルーグラス部門を獲得したビル・モンロー曲 “Southern Flavor” では、オリジナル録音と同じパディ・スパイカーやブレイク・ウィリアムズにモンロー代役ローランド・ホワイト、そしてあたらしくピーター・ローワンとのデュエットでボーカルパートを創作。ベッキーの素晴らしいアパラチア／ブルーグラス愛に満ちた大秀作、今月の一押しブルーグラスである。詳細次号

(オールドタイム／フォーク新入荷)

TIKI-9900 RAFF & CLELIA STEFANINI 『Old-Time Tiki Parlour』 DVD (本体 ¥3,300-) ¥3,564-

これは素晴らしい! 超おススメのオールドタイム映像です。映像モノ新入荷参照

(カントリー新入荷)

RCSI-1124 LEE ANN WOMACK 『The Way I'm

Living' CD (本体 ¥3,100-) ¥3,348-

来年のグラミー賞カントリーアルバム部門ノミネート作品!! キュートな愛らしい声ながらソウルフルで骨太な社会的メッセージを発するすばらしい女性シンガー、今年のIBMA アワードショウの司会をジェリー・ダグラスとともに努めたリーアン・ウォーマック (48) の第7作になるシュガーヒル最新作。である。この米国ウォルマート店頭のための限定仕様による特別盤には本編13曲のほか、なんとギター1本だけででシンプルに歌う1955年にポーター・ワゴナーでヒット、そののちエラ・フィッツジェラルドからパーズやディランまでがカバーした「足るを知る人生」を歌った“Satisfied Mind”やジョージ・ジョーンズの“Cup of Loneliness”がボーナスとしても収められている。リーアン・ウォーマック、IBMA アワードの司会に抜擢されたことによって久々に骨のある女性に出会った。お薦めの女性シンガーである。カントリー新入荷参照

WCRS-614 NATHAN STANLEY 『Every Mile』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

2歳の頃から祖父ラルフ・スタンレーについて回り、10歳からはクリンチマウンテンボーイズの正式!? メンバーとしてステージで紹介されていたから、きっと多くの人が彼を見てきたろうネイサン・スタンレー。最新作は今年の第45回ゴスペル音楽協会 (GMA) アワードのダヴ賞を受賞したサザンゴスペル作品。ゲストにカントリー界からピンス・ギルやT.グレアム・ブラウン、ゴスペル界からジェフ&シェリ・イースター、ソニヤ・アイザック、ジュディー・マーシャルほかを迎え、メインストリームのカントリーサウンドをバックに祖父ラルフ・スタンレーのテナーも参加した作品。カントリー新入荷参照

MCR-1002 LARRY CORDLE & LONESOME STANDARD TIME 『All Star Duets』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ブルーグラス作品だが、ガス・ブルックス、アリソン・クラウス、リッキー・スキヤッグス、ケニー・チェズニー、ダークス・ベントリー、トリーシャ・イヤード、キャシー・マティア、デル・マッカーリーほか、カントリー界のスーパースターばかりがズラっ! とラリー・コードルとブルーグラスでデュエットする。こんなメンツを一堂に集めることができるのは、さすが、総計5千5百万枚という売り上げを誇るソングライティングの力だろう。ブルーグラス新入荷参照!

(映像モノ新入荷)

TIKI-9900 RAFF & CLELIA STEFANINI 『Old-Time Tiki Parlour』 DVD (本体 ¥3,300-) ¥3,564-

これは素晴らしい! 超おススメのオールドタイム映像です。先入観なしで、ただただこのステファニーニ父娘のすばらしいフィドルやツーフインターやクロウハンマーバンジョー、そしてバラッドのデュオなどを観て欲しい。長い間アパラチアの山深くに伝わって来た音楽を、さらに父レイフから娘クレリアに、そのまま受け継ぎながら発展させている様子が見事に活写されている。ブルーグラスの基本であることはもちろん、ディランやスプリングスティーンからマンフォード&サンズまで、米英系フォークの基本となる本物の民衆音楽! 真剣にアメリカンフィドルを学ぼうとする人は必見! 21世紀を迎えた現在なお、若者たちに受け継がれている「オールドタイムの今」の姿を感じ、垣間見ることができる楽しくも、大秀作のDVD映像集である。映像モノ新入荷参照

新入荷作品詳細解説

■ブルーグラス新入荷

WR-8336 MAC WISEMAN 『Songs from My Mother's Hand』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

Blue Ridge Mountain Blues/The Wreck of the Number Nine/You're A Flower Blooming In The Wildwood (with Sierra Hull)/Old Rattler/When It's Lamp Lighting Time in the Valley/Answer to Weeping Willow/The Eastbound Train/Put My Little Shoes Away/Answer to Great Speckled Bird/Little Rosewood Casket/I Heard My Mother Call My Name In Prayer/Will There Be Any Stars In My Crown.

フラット&スクラッグスの記念すべき1948年の初録音に参加し“we'll Meet Again Sweetheart”を残し、1950年にはビル・モンローのブルーグラスボーイズにレスター・フラットの次に録音“Cant' You Hear Me Callin'”を残すという、ブルーグラス史に大きな足跡を残した「心からの歌声 (Voice with a Heart)」と称されるマック・ワイズマン、89歳にして、おそらく生涯最高の作品のひとつである。

その感動的な語るような歌と美声はまったく衰えず、独特のメッセージを発するイントネーションがバックアップの23歳のシエラ・ハルとのデュエットをはじめ、シエラのもっとも信頼するひとり、若きマルチプレイヤーのジャスティン・モーゼズのドブロやフィドル、ナッシュビルの大ベテラン・プロデューサーとドイツ生まれの気鋭のプロデューサー、ジミー・キャップスとトム・

ジャッツのデリケートなギターにマーク・フェインのベース。そこにジェリー・ロール・ジョンソンのハーモニカとアリサ・ジョーンズのハンマーダルシマを加えつつ聴かせる、バンジョーレスの暖かい音に囲まれたマックが母から学んだ美しいアメリカンフォークソング集。

“Blue Ridge Mountain Blues”からはじまり、“You're a Flower Blooming in the Wildwood”、“When It's Lamp Lighting Time in the Vally”、“Answer to Weeping Willow”、“Rosewood Casket”、そして“I Heard My Mother Call My Name in Prayer”や“Will There Be Any Stars in My Crown”ほか、その美しくも感動的な全12曲、メチャクチャいいアルバムである。この素敵なアイデアのプロデューサーは、ワシントンDCグラスからナッシュビルのジャーナリストとなったピーター・クーパー（ムーンシャイナー誌でお世話になってます!!）と、ドイツでブルーグラス大好きながらロックやクラシックギターで生計を立てていたものの2003年に夢を実現するためにナッシュビルに移ったというトム・ジャッツ、ふたりの非ナッシュビル人が創るディープで、かつ聴きやすい本物のトラッド……といった、知的なコンセプト。

ブルーグラスとは、バンド全体のアンサンブルから醸し出されるサウンド全体を捉えて評価する、というのが一般的、というか、とくに日本における価値基準になっている。なぜなら、メインである歌手の歌う意味がすぐには分からないから、全体をトータルなイメージとして音楽を判断することになる。もちろん、そのことに善悪などあろうはずはなく、音楽の楽しみ方のひとつとして、米国のミュージシャンからも高い評価を受けてきたことは言うまでもない。そんな中、バンドアンサンブルなどには構わず、どこにでもギター1本を担いで現れ、ローカルなバンドをバックにその「心からの声」を聴かせてきたマック・ワイズマンの評価は、日本では当然ながら、低い。しかし米国で、あれほどの人気を保ちつづけ、ときおり、驚くほどの名盤をものにするマック・ワイズマンが89歳にして、おそらく生涯最高傑作を発表した。暖かいボーカルと絶妙なアコースティックにくるまりたい方へ、大大大！推薦アルバムである。

**RDR-03 DONNA HUGHES 『From the Heart』
CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

Hard Hearted/Lucky/There's No Place Like Home/
I Love To Be With You/The Red Oak Tree/Walmart
Checkout Line/I Wanna Grow Old With You/Easy To
Love/Gone/Walk By Faith, Not By Sight/Daffodils/
Facebook/Love/Dog On A 10 Foot Chain/In The

Past/Make Me Or Break Me/Where The Good Daddies
Go/Nothing Left To Say/The Way I Am/Waiting/I'll
Fly Away.

アリソン・クラウドの“My Poor Old Heart”やセルダムシーン“Sad Old Train”などの作者でもあるドナ・ヒューズ、最新ソロ第5作。スコット・ベスタル(bj)、ティム・スタッフォード(gt)、ロブ・アイクス(db)、コリー・ピアット(md)、めっちゃ凄い女性ジェネイ・フリーノア(fd, harmony)ら申し分ないエース達のバックアップで21曲中19曲（トム・ペティ“Lucky”とゴスペル“T'll Fly Away”以外）がオリジナル。2006年にはトニー・ライスのプロデュースでラウンダーから全米デビューもした優れたシンガーソングライター。そのシンプルな曲名から知れるようになりにストレートな社会的メッセージを届けているようで、ウェブサイトにも「Changing the World with a Song」とある。

ノースカロライナのビードモント地方出身、バプティスト教会で鍛え上げたらしい伸びと張りのあるカントリーボイスがアコースティックでソリッドなブルーグラスのサウンドを上手く乗りこなしているといった、たとえばベッキー・ブラーのようなブルーグラス育ちではない彼女の感性が、ベッキーとは違った生き生きとした曲にうまく乗っている。

たとえば、老夫人との交流と死“Gone”や、鎖に繋がれた犬の目から見た“Dog on a 10 Foot Chain”という悲しい曲、ワンちゃんは言う「What did I do wrong, what did I do? I just want someone to love me, because I love you. Whatever I did wrong, maybe I can change, No one knows how hard it is, how hard it is to be ………, a dog on a 10 foot chain. The world is big and beautiful, But I'll never see it all, Maybe when I go to Heaven, Someone will throw me a red ball.」。——そんな涙を催すような犬好きにはたまらない物語から一転して“Facebook”は、「facebook was made by the devil, Facebook was made in hell, Facebook is nothing but tramps & cheatin', Causin relationships to fail.」と歌い、ウォルマートに列を作る悲しい人たちの歌などと、様々な米社会のシチュエーションを歌いあげる。ただ者ではない才能、というか生き方を感じるブルーグラスシンガーである（彼女のサイト“Albums & Lyrics”に歌詞がある）。

山の生活を背負っていたブルーグラスが近年、様々な人の生活を描くようになっていく。そんなブルーグラスに、女性の視線であたらしい世界観を与えるような素晴らしい作品だと思う。最後の曲は自身のピアノとジェネ

イのフィドルとハーモニーにチェロ（ジョン・キャッチングス）を加えて聴かせる“Tll Fly Away”。ちなみにドナ、本作と同時にピアノとフィドル、チェロ、ベース（マーク・フェイン）によるアルバム『Fly』を発表している。サイトの歌詞とともに味わってほしい。21 曲、おなか一杯になりますよ……!?

MCR-1002 LARRY CORDLE & LONESOME STANDARD TIME『All Star Duets』CD（本体 ¥2,450-） ¥2,646-

Against The Grain (feat Garth Brooks)/Mama Don't Forget to Pray For Me (Diamond Rio)/Highway 40 Blues (Ricky Skaggs)/Lonesome Dove (Trisha Yearwood)/The Bigger The Fool - The Harder The Fall (Del McCoury)/The Fields of Home (Kenny Chesney)/Lonesome Standard Time (Kathy Mattea)/Murder on Music Row (Daryle Singletary/Kevin Denney)/You Can't Take It With You When You Go (Dierks Bentley)/Cure For The Common Heartache (Terri Clark)/Rough Around The Edges (Travis Tritt)/Two Highways (Alison Krauss).

1983 年、一躍カントリー音楽界の寵児となったリッキー・スキヤッグスに“Highway 40 Blues”という曲を提供しナンバーワンヒット！ リッキーをスーパースターに押し上げたラリー・コードル (65)、リッキーの 5 歳年上の幼なじみだ。ガース・ブルックス、アリソン・クラウド、リッキー・スキヤッグス、ケニー・チェズニー、ダークス・ベントリー、トリーシャ・イヤード、キャシー・マティア、デル・マッカーリーほか、カントリー界のスーパースターばかりがズラーっ！とラリー・コードルとデュエットする。超豪華ブルーグラスとカントリー共演アルバム。

お爺ちゃんがクローウハンマーとフィドルを弾き、何もすることのない田舎でジャムが最大の楽しみだったという子供時代にご近所さんのリッキーとはともに遊んでいたのだろう。高校を卒業後、4 年間海軍で過ごしたのちモアヘッド州立大学で資格を取り、卒業後は監査会社に就職、昼は仕事で夜は音楽の生活開始するが 1983 年、リッキーのナンバーワンヒットが人生を変えた。1985 年、リッキーの勧めでナッシュビルに移り、リッキーが立ち上げたあたらしい出版社で、週給 200 ドルのソングライターとなる。しかし、そこで出会ったジム・ラッシングやカール・ジャクソンらとともに幸運が訪れ、1980 年代のネオカントリーと呼ばれる復古ブームに乗ってソングライターとして成功していく。ブルーグラスにも「歌」の説得力が殊更に求められるようになったのも

この頃からである。本作に登場する前述アーティスト以外にも、ロレッタ・リン、ジョージ・ストレイト、リーバ・マッキンタイアをはじめ、現在までにラリーは総計 5 千 5 百万枚以上の印税を稼いでいるという。

1990 年にフィドラーのグレン・ダンカンと立ち上げた自身のバンド、ロンサムスタンダードタイムはラリー・パーキンスのスクラッグスもどきのトーンとともに 1992 年、センセーショナルなデビューを飾りグラミーに最終ノミネートされている。以来、ソングライティングの超売れっ子となりながら、ブルーグラスミュージシャンとしてバンドを維持、アルバム 8 枚を発表している。2007 年作『Took Down and Put Up』(¥2,646-) の在庫あり。

本最新作のバックにはグラスカルズのクリスティン・スコット・ベンソン、ギターにブライアン・サットン、マンドリンにはアンディ・レフトウィッチ／クリス・デイビス、強力フィドルのジェネイ・フリーノア／ティム・クロウチ、ドブロにはキム・ガードナー／ランディ・コアズ……。とにかく、ガースからアリソンまで、こんなメンツを一堂に集めることができるのは、さすが、総計 5 千 5 百万枚という売り上げを誇るソングライティングの力だろう。カントリースーパースターがブルーグラスするのも聴きモノだ。

PC-1192 PHIL LEADBETTER『The Next Move』CD（本体 ¥2,450-） ¥2,646-

Ramblin' Rolling Stone/I've Never Seen a Love that Wasn't Blind/Baptism/Just Joshin'/Jesus, My Old Dog and Me/Hole in the Earth/Georgia on My Mind/Leadbelly/Pull the Trigger/I'm a Modern Day Interstate Gypsy/Sweet Georgia Brown/When the Roll is Called up Yonder.

ジョン・カウワンのボーカルにサム・ブッシュのチョップが煽る、まさにニューグラスリバイバル！の 1 曲目、“Just Joshin'”ではジェリー・ダグラスとロブ・アイクスとのトリプルドブロ！ またスウィング定番“Sweet Georgia Brown”にベラ・フレックとバック・ホワイต์という 70 年代からのファンにはたまらないコラボなど、今年、2 度目の IBMA アワード最優秀ドブロを獲得したフィル・レッドベター (52) の 3 枚目のソロ最新作は超豪華なドリーム作品。

1962 年、東テネシーのノックスビルで生まれ、ブルーグラスが新時代に突入した 1974 年にドブロを弾きはじめたフィル、1975 年以来、若い友人らとバンドを結成、1982 年にはノックスビルの万国博覧会ではほとんど毎日演奏したという。8 年間の看護師の職を捨て、グランパ・ジョーンズやバーン・ゴズディンらカントリーシンガーのバックを務めたのち 1990 年から 11 年間、J.D. ク

ロウ&ニューサウスに参加、『Flash Back』(1994)と『Come On Down To My World』(1999)を残しその間、デビューソロ『Philbuster』(1997)を発表している。2001年にニューサウスを離れてダレル・ウェッブらとワイルドファイアー結成、2003年にはギブソン社が持つドプロ・ブランドからフィル・レッドベター・シグネチャーモデルを発表、2005年にソロ第2作『Slide Effects』を発表、同年のIBMA年間最優秀インストアルバムとドプロ奏者をダブル受賞。2006年にはスティーブ・ガリーとグラスタウン結成、2010年にはバック・ホワイのザ・ホワイツに参加するが、2011年、がんの一種といわれるホジキンリンパ腫と診断され、2年間治療に専念、2012年12月には回復してデール・アン・ブラッドリー・バンドに参加、2013年から取りかかったのが入院中に創った共演したい夢のリストの実現、つまり、本作である。

その夢の共演リストは前述のブッシュ／カウワン、ダグラス／アイクス、そしてフレック／ホワイのほか、マーティ・レイボン&ジョー・ディフィ、スティーブ・ウォーリナー、ケン・メロンズ、コン・ハンリーら新旧のカントリースターたちやスティーブ・ガリー&デイル・アン・ブラッドリー、ショーン・キャンプらのブルーグラスシンガーら。そしてバックアップには、高校時代の来日組シエラ・ハルとコーリー&ジャロッド・ウォーカー兄弟のほか、ジェイク・スタージェル、息子マット・レッドベリーら若手スーパーピッカーらにベテラン勢のスティーブ・トーマス、マイク・バブ、ケニー・スミス、ティム・クロウチ、チャーリー・クッシュマン、カール・ジャクソン、ドン・リグズビー、アラン・バイビー、マーク・ニュートンなどといった豪華メンバーだ。

CTR-0044 SHAWN LANE 『Mountain Songs』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

Mountain Songs Of Yesterday/Charlestown/Top Of The Mountain/A Mother's Prayer/It's Time To Roll/Hidden Valley/Just Not Today/We Must Be In Heaven/A Little While/Journey of a Soldier/Texas On My Mind/Amazing Grace.

ブルーハイウェイのマンダリンとフィドル担当のショーン・レーン、ソロとしては第2作になる最新作。パット・ウェイジズまたはジョッシュ・ミラー (bj)、ロブ・アイクスまたはジミー・スチュワート (d)、バリー・ベイルズまたはマーカス・スミス (bj) という自身の地元中心の人選で「山」をテーマにストレートに自分の音楽を聴かせる。

バージニア州南西部、カーターファミリーやスタンレー兄弟の故郷にも近い南部アパラチア、クリンチマウ

ンテンのど真ん中、フォートブラックモアに1971年生まれ。1990年にルー・リード、93年にはリッキー・スキャッグスのケンタッキーサンダーを経て、1995年にブルーハイウェイを創設、以来20年間、メンバーチェンジなしのバンドを全員プレイで、2012年のIBMA最優秀ボーカルグループ受賞など確たる人気を誇っている。2003年、レベルから『All for Today』を発表、今作が2枚目のソロだ。この10月、ネバダとカリフォルニアのアールズ・オブ・レスターのコンサートではティム・オプライエンの代理として参加、フラット&スクラッグスを嬉々として演じたと報じられている。

ブルーハイウェイではコンテンポラリーなブルーグラスをあっさりとしたボーカルで聴かせるショーン。しかし、彼がここに収めたのは、自身の祖父から聞いた話などをもとに、兄弟や息子ふたりと娘も参加、厳しいアパラチア「山の生活」をテーマにした12曲中10曲がオリジナルといった作品、21世紀を迎えても南部アパラチア山岳地帯に連綿とつづく伝承音楽のパワー、これって、ほんま、何なんだろうね……。ここに収められているロニー・ボウマンとの共作“A Mother's Prayer”はラルフ・スタンレーの2011年作アルバムのタイトルトラックになっているように、ヒットや世の中の流れなどとは無縁に、また国や民族が違っても、何か普遍的な感覚が響き合う、山の魂であるのかもしれない。

ラス前11曲目、“Texas on my Mind”は、唯一の他人の曲をオシャレなスウィング風味に演じてみせ、そして最後のトラッドゴスペル曲“Amazing Grace”は、自身のマンダリン1本に息子グレイソンのソロボーカルのみという……。最後の2曲だけはちょっと雰囲気が違うが、自分の出自に素直な、自然体のアルバムなのだろう。

RGMCD-119 FLATT & SCRUGGS 『7 Classic Albums plus Bonus Singles』 CD 4枚組 (本体 ¥2,750-) ¥2,970-

これは凄い!! 現在入手不能のあの『Foggy Mountain Banjo』を含むフラット&スクラッグスのアルバム7枚とシングル13曲の全92曲集。1957年から1962年まで、フラット&スクラッグス最初期のアルバム7枚を発売順に並べたCD4枚組アルバム、しかもこの価格!である。とにかく『Foggy Mountain Banjo』(1961)が入っているだけで十分モトは取れる!!

ほかに極めつけブルーグラス界最大名盤『Foggy Mountain Jamboree』(1957)、そしてマザーメイベルをゲストに迎えたカーターファミリー曲集『Sounds of the Famous Carter Family』(1961)、ゴスペルアルバム『Songs of Glory』(1960)、わたし大好きな「とろけるレスター」

と有名アメリカンフォークソングが楽しめる『Folk Songs of Our Land』(1962)のコロムビアのアルバム5枚と、マーキュリー時代(1948～1950)の録音集『Country Music』(1958)と『with the Foggy Mountain Boys』(1960)の2枚の、合計アルバム7枚が収められている。

シングル13曲には“Big Black Train”、“Don't Let Your Feet Go Down”、“I'll Go Stepping Too”、“I Don't Care Anymore”、“Dim Lights Thick Smoke”など、なぜかアールズ・オブ・レスターと符丁を合わせたような選曲ほか、わたしが最初に惚れた“The Old Home Town”や、クリス・シーリ&マイケル・ディブズのタイトル曲で当時放送禁止となった“I'm Gonna Sleep with One Eye Open”、そしてレスターが娘ブレンダを歌った“Mama's and Daddy's Little Girl”など17曲。

フラット&スクラッグスの前半を極めるには有益な、たとえ皆さんのお手持ちとダブリがあったとしても、順に聴いていくだけでも、とにかく持って置いて損はない、……というか、初期ブルークラス音楽最大の功労者による「ブルークラス音楽」がもつその核心／音楽性と大衆／ポップ性を知る、重要な4枚組がこの値段！である、と言える。

■インスト新入荷

**ROU-3626 BELA FLECK & ABIGAIL WASHBURN CD 歌詞付き) (本体 ¥2,450-)
¥2,646-**

(Railroad/Ride To U/What'cha Gonna Do/Little Birdie/New South Africa/Pretty Polly/Shotgun Blues/For Children: No 3 Quasi adagio, No 10 Allegro molto - Children's Dance/And Am I Born To Die/Banjo Banjo/What Are They Doing In Heaven Today?/Bye Bye Baby Blues.

ベラとアビゲイルのフレック夫妻、初めての子供、ジュノのために愛情いっぱい込めて創られたフレック家の宝物のような作品。フォスターの「草競馬」を隠れテーマにしたアビーの祖母の代から歌い継がれるトラッド“(I've Been Workin' on the) Railroad”を1曲目に“Pretty Polly”や“What Are They Doing in Heaven Today?”(感動的な曲に凄いベラ間奏!)などのトラッド。ベラが書いたバンダアチェと東日本大震災津波をテーマに地球温暖化への警鐘“What'cha Gonna Do”(ベラも歌う!)や、マンデラが大統領になった翌1995年に西アフリカツアーをする前夜に書いたという“New South Africa”や“Banjo Banjo”、そしてバルトーク「子供のために」から第3番と10番のインスト、そしてアビーのトラッ

ドに沿った素晴らしいオリジナル4曲(ベラとの共作2曲を含む)。

ちなみにベラ、そのフルネームはベラ・アントン・レオシュ・フレック。その名前は、ハンガリー生まれでニューヨークで没した民俗音楽研究家でもあったクラシック作曲家バルトーク・ベラ(Bartok Bela, 1881-1945)、ウィーンの前衛音楽家アントン・ヴェーベルン(Anton Webern, 1883-1945)、チェコ東部の作曲家で出身地方の民族音楽の旋律からオペラをはじめ多くの作品を残したというレオシュ・ヤナーチェク(Leo? Jana?ek, 1854-1928)の3人から名前をもらっている。両親は確信犯!?

どの曲も明確なメッセージが心に届く強さと同時に、あのRB-75はもちろん、バリトンバンジョーやチェロバンジョーほか、さまざまなバンジョーを駆使した刺激的な音の世界。ふたりだけで、アビーのボーカルとベラのバンジョーという世界的な才能を存分に楽しむことができる凄いアルバムだ。ビルボードブルークラスチャート初登場1位は当然だが、ナント総合チャートで118位という、さすがの知名度。バンジョーとアメリカントラッド音楽を愛するすべての方にお薦めできる、凄い、究極のファミリーミュージックとも言えようか……次世代に伝わる音楽である。

(ウィキペディアより)

ウォッシュバーンが初めてフレックと出会ったのはナッシュビルのスクエアダンスパーティ、彼女は踊り、彼は弾いていた。2007年8月、彼女と彼が付き合いはじめたと報じられた。2009年5月、ゴシップサイトのブルークラス・インテリジェンシーが、「ふたりは男子を設け、神聖バンジョー皇帝を継承する」と約束しているというケイシー・ドリーセンのジョークを紹介、ふたりの結びつきを風刺している。2010年2月、アスペンタイムズ紙はふたりが夫婦であることを報じた。2013年5月19日の日曜日、ウォッシュバーンは男児を出産、子供はジュノ・フレックと名付けられた。(ブクブクとしたジュノの可愛い写真がインナージャケットを飾っている)

■オールドタイム新入荷

**BACM-454 WADE MAINER & ASSOCIATES
CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

Come Back To Your Dobie Shack/Riding On That Train 45/Memory Lane/Johnson's Old Grey Mule/I Met her At A Ball One Night/Wild Bill Jones/Goin' To Georgia/Pale Moonlight/Hop Along Peter/John Henry

Was A Little Boy/Mother Came To Get Her Boy From Jail/Cowboy's Pony In Heaven/ Maple On The Hill/Little Pal/Watermelon On The Vine/ Take Me In The Lifeboat/Down In The Willow Garden/Short Life Of Trouble/Always Been A Rambler/ Been Foolin' Me Baby/Free Again/Gathering Flowers From The Hillside Train Carry My Girl Back Home/Ramshackle Shack.

ブルーグラスに限りなく近いブリブルーグラスの代表格、ノースカロライナ州アッシュビル周辺、ジョージ・バックナーと同じウィバービル出身のメイナー兄弟の弟、ツーフィンガー奏法を確立したともいわれるバンジョー奏者として高名なウエイド・メイナー。1907年生まれで2011年、104歳までの長寿をまっとうした彼のレパートリーは、そのままフラット&スクラッグスらに受け継がれているように、ブルーリッジの伝統の中で20世紀に入って整えられたブルーグラス以前のストリングバンドの典型でもあった。当時25歳、ブラザーデュオで人気の出はじめたビル・モンローや12歳のアール・スクラッグスがいかにブルーグラスをイメージしていたのか？ 1936～1937年に録音されたこれら24曲から想像するのも楽しい。ブルーグラスをより深く知るためには必ず知っておきたい貴重な音源である。

■カントリー／ポップ新入荷 RCSI-1124 LEE ANN WOMACK 『The Way I'm Livin'』 CD (本体 ¥3,100-) ¥3,348-

Prelude: Fly/All His Saints/Chances Are/The Way I'm Livin'/Send It On Down/Don't Listen To The Wind/Same Kind Of Different/Out On The Weekend/Nightwind/Sleeping With The Devil/Not Forgotten You/Tomorrow Night In Baltimore/When I Come Around. plus bonus: Satisfied Mind/Cup of Loneliness.

なんと！来年のグラミー賞カントリーアルバム部門ノミネート作品!! 米国ウォルマート店頭のみ限定仕様による特別盤、今年のIBMAアワードショウの司会をジェリー・ダグラスとともに努めたリーアン・ウォーマック(48)の第7作になるシュガーヒル最新作。タイトル曲のプロモ映像(名前とタイトルで検索)では、ヘビーな内容のカントリーロック調の曲ながらイーサン・パリンジャーとサム・グリスマンのブルーグラス2世たちが出演。そもそも1984年に、マイク・バブやロン・ブロックを輩出したサウスプレインズ大学(米国でいち早くブルーグラスやカントリーを正式学科に導入した単科大学)に通いはじめて音楽に目覚めたというリーアン。

もっともヒットしたのは彼女の音楽志向とは真逆の

ポップ要素を多く取り入れた2000年の作品『I Hope You Dance』だが、デビュー当初からリッキー・スキヤッグスやザ・ホワイツらとのコラボで名を上げていったトラッド派。2005年にはアルバム、『There's More Where That Came From』でアルコールと裏切り／不倫というテーマにペダルスティールとストリングスといった、ロレッタ・リンやバーバラ・マンドレルらに通じる60～70年代の正統派カントリーに戻り大きな評価を得たという。そののちもカントリー王道テーマでクロート筋の評価を得ながら、サウスプレインズ大学以来のブルーグラスファンとしても知られているという。たとえば、ステュアート・ダンカンやブライアン・サットンと組んで南北戦争をテーマにしたカントリー音楽博物館でのワークショップ(Lee Ann Womack, The Legend of a Rebel Soldierで検索)などで、テキサス生まれながらケルトの愁いを含んだアパラチア系のすばらしく感動的な歌声が堪能できる。基本、キュートな可愛い声の持ち主ながらソウルフルで骨太なメッセージを発する女性シンガーである。

この最新作でも、ニール・ヤングの"Out On The Weekend,"をはじめディキシー・チェックスの"Traveling Soldier"の作者ブルース・ロビンソンや幽玄なトラッドシンガー、ミンディ・スミスらの作品を取り上げながら、現代的なアルコール中毒や物質／実利至上主義などに対する社会メッセージを込めたゴスペル的なスピリチュアルソングを軸にしたすばらしい作品となっている。バックアップにはCMAアワードで5年連続最優秀ミュージシャンに選ばれているマック・マカナリー(gt,piano,key,mandocello)、デューク・ルバイン(gt)、ポール・フランクリン(pedal steel gt)、オウブリー・ヘイニー／ハンク・シンガー(f)、プロデュースも担当するグレン・ウォーフ(bs)ほか、夫であるフランク・リッドルの総合プロデュースのもと、現在のトップナッシュビルミュージシャンたちがペダルスティールをフィーチャーしたカントリーらしいサウンド作り。シュガーヒルというレベルに移ったことでより個人的なメッセージが強くなり、それだけ濃い内容がグラミー会員らに評価されたのだろう。

この米国のウォルマート店頭のみでしか入手できない特別盤にはギター1本でシンプルに歌う1955年にボーター・ワゴナーでヒット、そののちエラ・フィッツジェラルドからバーズやディランまでがカバーした「足るを知る人生」を歌った"Satisfied Mind"やジョージ・ジョーンズの"Cup of Loneliness"などがボーナスとしても収められている。リーアン・ウォーマック、IBMAアワード

の司会に抜擢されたことによって久々に骨のある女性シンガーに出会った。

2013年6月号と7月号(各¥540-)にてジョージ・ジョーンズ追悼特集「カントリーソングとは何か?」を連載しています。米国でなぜカントリー音楽が人気を持ち続けるのか?興味のある方は読んでみてください。

**WCRS-614 NATHAN STANLEY 『Every Mile』
CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

Where Will You Go/Every Mile/Lord You're The Best Thing/Piece Of Clay!/Let Me In Your Heart/I Know Jesus Will See Me Through/Heart That Will Never Break Again!/Where No One Stands Alone/Baptism Of Jesse Taylor/Green Pastures/Would You Be Ready!/Hand In Hand With Jesus/You Can't Make Old Friends.

ラルフ・スタンレーの孫、ネイサン・スタンレーの通算7枚目となる最新作。ナッシュビルのメインストリームカントリーサウンドをバックにしながらもラルフのテナーや“Green Pastures”などというトラッドも取り入れつつ、ピンス・ギルを意識したような甘いボーカルでサザンゴスペル市場に打って出た作品。その狙いは成功、今年の第45回ゴスペル音楽協会(GMA)アワードのダヴ賞を最優秀ブルーグラス作品として受賞している(どこがブルーグラスやネンという声はさておき、プロダクションと狙いは当たったのだから……)。

つまり、「サザンゴスペル」というマーケットはムーンシャイナー11月号から12月号にかけて「ブルーグラス史観によるアメリカ歴史概論」で特集しているように、音楽スタイルではなく、南部白人の教会やリバイバル集会で歌われる福音の歌を対象に存在するもの。「プリンスオブブルーグラス」を名乗るネイサンだから、スティールギターやエレキなどのカントリーサウンドをバックにスタンレー家伝来の唱法を使ってサザンゴスペルマーケットに切り込んでもいいのだ。ブルーグラスという音楽と言葉が、21世紀を迎えてようやく一般的になったとはいえ、一般リスナー(大衆)がそれがブルーグラスかどうかなんて、まったく関係ないわけで、要は心に響く音楽を届けてくれればいいのだ。

ゲストにカントリー界からピンス・ギルやT.グレアム・ブラウン、ゴスペル界から(もとはブルーグラス出身の)ジェフ&シェリ・イースター、ソニヤ・アイザック、ジュディー・マーシャルほかを迎え、メインストリームのカントリーサウンドをバックに祖父ラルフ・スタンレーのテナーも参加したカントリーとしてよくできたサザンゴスペル作品だ。

映像モノ新入荷

TIKI-9900 RAFE & CLELIA STEFANINI 『Old-Time Tiki Parlour』 DVD (本体 ¥3,300-) ¥3,564-

Ladies Fancy/Lady Hamilton/Walking Boss/Fire on the Mountain/Fort Smith Breakdown/Wild Rose of the Mountain/Give the Fiddler a Dram/Cripple Creek/Jack Wilson/Let Me Fall/Dusty Miller/Ma Ferguson/Old-Time Train 45/Sales Tax Toddle/Throw the Soapsuds in the Corner of the Fence/Hog-Eyed Man/Davy, Come Back Home and Act Like You Ought To.

オールドタイムフィドルの伝統を見事に受け継ぐ姿を観せてくれるオールドタイムの傑作DVD! レイフとクレリアのステファニー二父娘。オールドタイムというスクラッチノイズと調子づれの聴き苦しい音楽と思っている人は、おそらく戦前のレコードを無理やり聴いたトラウマかもしれない。これはオシャレなL.A.のデビッド・ブラガー邸のパラー(リビングルーム)で開かれるハウスコンサートをイメージして収録されたA級映像作品。伝統、つまり彼らが学んだオリジン的手法に則りながらも彼らふたりのオールドタイムグルーヴを創っていく姿が微笑ましく美しい!

ふたりのフィドルのみならず、レイフの見事なクロウハンマーと、あまり見ることのないツーフィンガースタイルのバンジョーとフィドル、またクレリアのギターなどでのボーカルとデュオなども聴かせる。また、オールドタイムではあまり聴かれないツインフィドルのハーモニーを見事に組みあげたり、ふたりそれぞれのフィドルソロもまた聴かせる。ビル・モンローがこんなところからイメージを得たのだとか、アールのフィドルに対する感情のバリエーションなど、想像が膨らむ。

父のレイフは北イタリアのボローニャ出身。多くの我々と同様、フォークリバイバルでブルーグラスやブルースを発見、レイフの場合はドック・ワトソンからニューロストシティランブラーズを経由してオールドタイムストリングバンドの本丸、ハイウッズストリングバンドにはまり米国詣でを繰り返し、ついには1983年に移住してしまったという。

クレリアはそんな家庭に1990年生まれ、両親に連れられてフェスやフィドラーズコンベンションを回っていたが14歳のとき突然、ノースカロライナ州マウントエアリーのフィドラーズコンベンションでローンマウンテンヒルトッパーズのジョー・バーチフィールドが弾く“Old-Time Train 45”(本作にも収められている)のジャ

ムに出会い、「フィドルを弾きたい!」と言い出したという。そののち、父からすべてを吸収、ついにはクリフトップというオールタイム界でもっとも知られるコンテストで2013年のチャンピオンになり、オールタイムフィドルのナンバーワンの位置を得たという。

レイフとクレリアが創るグルーヴ、そのボウイング込められたオールタイムフィドル特有のグルーヴをジックリと観て欲しい。ブルーグラスやトラッドフォークを志す者なら、きっと何か大切なものをふたりからもらえそうな気がする。伝統に則りながらも彼ら自身のフィドル音楽を創っていく様子がすばらしい!

ちなみにふたりが使うフィドルはレイフの弟で、ともにオールタイムバンドを組んでいたブルーノ・ステファニーニがイタリアのボローニャにある自身のバイオリン工房で製作したものという。

最近作／お勧め作、再入荷

(すでに新入荷で紹介済の作品たちです)

■月刊ムーンシャイナー特集／関連作品

(最新12月号、記事や特集などの話題作品です)

JMD-002A タロー & ジョーダン『初心』CD(本体 ¥2,000-) ¥2,160-

12月号ので特集されているマンドリンとギターの強烈インストデュオ、タロー & ジョーダン、2012年のデビュー作『Did I Laugh in Your DReam?』(¥2,160-)につづく最新第2作。いとうせいこう氏がジャケットに「このめくるめく弦の嵐!」と寄せているように、ブルーグラス超絶技巧のフラットマンドリン「井上太郎」と、ドロップ“D”の強力アイリッシュビートのアコースティックギター「ジョーダン・マConnell(Jordan McConnell)」、2本の弦楽器のみで奏でられる素晴らしいオリジナルインスト集。日本発の環太平洋室内弦楽、ブルーグラスとアイリッシュ、日本と北米、マンドリンとギター……、まったくあたらしい21世紀のアコースティックアンサンブルを応援して下さい!!

BACM-330 LULU BELLE & SCOTTY『The Sweethearts of Country Music』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

「カントリー音楽界の恋人たち」と呼ばれ、戦前に絶大な人気を博したラル・ベル & スコッティ夫妻の物語りが特集。“Remember Me”と“Have I Told You Lately That I Love You?”、2曲の大ヒット曲を含む決定盤。

【ムーンシャイナー 12月号レビュー紹介作品】

● **THR-4121 CLAIRE LYNCH BAND『Holiday!』**

CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ブルーグラス歌姫クレア・リンチが若手強力ピッカーを従えて初のクリスマス集。デリケートでキュートなクレアの歌声がスウィングに12月を包み込みます。

● **MH-1533 BALSAM RANGE『Five』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

2014年IBMAアワード、年間最優秀エンターテイナー、年間最優秀ボーカル・グループ、年間最優秀男性ボーカル(バディ・メルトン)受賞の話題作!

● **REB-1853 JIMMY GAUDREAU & MOONDI KLEIN『If I Had A Boat』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

70年代SSWの名曲などを美しいブラザーデュオに仕上げるDCグラスの継承者ジミー・グドローとムーンディ・ライン最新第3作。

● **PATUX-256 RUSS CARSON『Avenue of the Giants』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

1978年製ゴールドスター「GF-100W」を宝物のように弾くラス・カーソン、現在リッキー・スキャッグス & ケンタッキーサンダーのバンジョー奏者、最新第2作である。

● **BSOL-002 BLUESIDE OF LONESOME『Take Me In Your Lifeboat』CD(本体 ¥926-) ¥1,000-**

ブルーサイドオブロンサムスの2枚目の7曲入り最新ミニアルバム。今回は坂本愛江の女性ボーカルをフィーチャー。

● **DNP-1326 DAVID NAIDITCH『Bluegrass in the Backwoods』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-**

高校時代に来日したクリスチャン・ウォード(fd)とシエラ・ハル(md)ほか、ダンカン／ブロック／アイクスらトッププレイヤーががBGインスト有名スタンダードの美味しい曲集に刺激的な音世界を創る。

■ブルーグラス最近作／お勧め作

REB-1846 LARRY SPARKS『A Classic 50th Celebration: Lonesome and Then Some...』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

アリソン・クラウドとジュディー・マーシャルというふたりの最高の歌姫を伴った“Green Pastures”、このすばらしいトリオハーモニーと乙女たち vs ラリー三様のソロだけでも満足しそうなラリー・スパークス最新作は、さらにボビー・オズボーン、カーリー・セクラ、ジェシー・マクレイノルズ、そしてビル・モンローという第一世代との共演も収めたデビュー50周年記念の素晴らしい

しい内容のトラッドグラス作品。1964年、スタンレー・ブラザーズに参加してから50年、1947年9月25日生まれというから67歳、まだまだ脂の乗り切ったラリー、素晴らしい最新作だ。川口市国際交流プログラムに来たときは高校生だったタイラー・マリンス君の素晴らしいバンジョーイントロで始まるジミー・スキナー作のスタンダード名曲 "Will You Be Satisfied That Way" の一曲目から、デビッド・ハービーのマンダリンとロン・スチュワートのフィドルという申し分ないバックアップで、スタンレーの "Loving You Too Well"、モンローの "Letter from My Darling"、フラット&スクラッグスの "Dim Lights Thick Smoke" など、御三家ものを揃え、さらにハンク・ウィリアムズの "Sing, Sing, Sing" からビル・モンローとのデュオ "In the Pines" で終える全18曲。全ブルーグラスファンにとって、デル・マッカーリーとともにかけがえのないブルーグラスの真髄を伝えるアーティストとして尊敬を受ける。その50年の音楽は、一地方音楽だったブルーグラスの素晴らしいお宝だ！ 深く味わい聴くべし！

PC-1157 JACK COOKE 『Sittin' on Top of the World』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

Gotta Travel On/I'm Walking the Dog/North to Alaska/Dark Hollow/Long Black Veil/My Little Georgia Rose/On and On/Sugar Coated Love 他全15曲

2006年作品、久々の再入荷紹介！ 何がホンモノか……、人によって違うことを承知で「これッ、ジャック・クックは本物」です！ わたしにとって、これがホンモノのブルー・グラス・ボーイの歌い方なんです。そう、エド・メイフィールドも若きデル・マッカーリーやピーター・ローワンも、そしてカーティス・ブラックウェルやジム・マッコールら、これがビル・モンローの子供たちの歌い方なんです。レスター・フラットやマック・ワイズマンではないしジョージ・ジョーンズでもない、つまり、色気や艶を意識しない中から生まれる無垢なマウンテンソウルとでも申しましょうか……、なんですよ、とにかく。きわめてあっさりと歌いつつ、ヒットするべき音に自然に気持ちが意識せずに持ち上がっているという唄い方（聴かせ方、ややカーター・スタンレーには少し近いかも知れんけど）。……ん、何言ってるか分からん？ ですよ。ま、聴いてみてください。選曲拔群、バック拔群（ロニー・マッカーリー、ジェイソン・カーター、ラルフクロウンのステイプ・スパークスマン etc、こんな唄い方、選曲にはこれしかない弾き方）、ハーモニー（モンロー在籍時に同期のこともあったデル・マッカーリーほか）、とにかくジャック・クック、ラル

フ・スタンレーのベーシストとして長年勤める彼、わたしも70年代に彼のアルバムを本気で創りそうになった思い出がある。70才にしてこのはりのある声、そして気持ちの持って行きよう…、正しいテンポの "My Little Georgia Rose" からデルとのデュエット "On and On" そしてジャックのトレードマークのタイトル曲への流れは圧巻である。1963年の、もう1曲のトレードマーク "Let Me Rest at the End of My Journey" を含むライブ録音2曲がボーナス（このときのGランも正しいブルー・グラス・ボーイ・スタイル）。完全脱帽の正統トラッドグラス。

THR-9001 HOT RIZE 『When I'm Free』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

1980年代のネオトラッドグラスをリードしたホットライズが19年ぶりの新作にして24年ぶりのスタジオ制作に挑んだ話題作。1979年、ビル・モンローのカバー "Blue Night" を1曲目に、フラット&スクラッグスのスポンサー、マーサホワイト製粉社のふくら膨らむキャッチフレーズをバンド名に、焼きたてのビスケットをジャケットにした『Hot Rize』でデビュー。ティム・オブライエンという、ハートフォード／ローワンに並ぶブルーグラス界が生んだ最高のシンガーソングライターでマンダリニストがストレートブルーグラスを演じるバンドだ。スーツとレトロなタイに身を包み、ニューヨークやコロラドの先進都会派ヤッピーの圧倒的支援を受け、1980年代のもっとも影響力のあったバンドとして21世紀にブルーグラスを持ち上げた功労者でもある。「端正なトラッドグラス」という表現がもともとハマる、ティム (md,fd) にピート・ワーニック (bj)、ブライアン・サットン (gt)、ニック・フォスター (bs) とのカルテットのさすが！ 素晴らしい最新スタジオ作品。ファンの胸を掻き巻くだろう大秀作。

REB-1857 JUNIOR SISK & RAMBLERS CHOICE 『Trouble Follows Me』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

現在、ダン・ベイズリーと並ぶ中堅トラッドグラス最高の歌い手と言われ、2013年のIBMA 最優秀男性ボーカルを受賞したジュニア・シスク、ランブラーズ・チョイスを率いての最新第五作。典型的のヒルビリーな自虐マンガをジャケットに、1曲目 "Honky Tonked to Death" から12曲目の自作タイトル曲まで、ヒルビリー（田舎もん）の悲哀をテーマにした快調な作品。カーター・スタンレー "Our Darling's Gone"、マイケル・マーティン・マーフィー作でモンキーズやセルダムシーン、ブルーグラス45!! までがカバーした "What Am I Doing Hanging

Around”、1969年のチャーリー・プライド “All I Have to Offer Is You” ほか、ロニー・ボウマンやディキシシー & トム・T. ホールなどの新曲が快調なブルーグラスで気持ち良く演じられる。まだ25歳の「ワナビアーール」ジェyson・デビスの抑制とアイデアを効かしたバンジョーほか、ツービートを強調するタテノリ系とは一線を画す落ち着いたブルーリッジ系サウンドが心地良く響く中、ブルーグラスの伝統を踏まえたボーカルとバンジョーがとてもいい作品だ。

ちなみに、2012年 IBMA アワードで最優秀アルバムと収録曲の “A Far Cry from Lester & Earl” が最優秀ソングのダブル受賞したアルバム『The Heart of a Song』(REB-1845 ¥2,646-)のほか、2013年に IBMA 最優秀男性ボーカルを獲得した『The Story of the Day That I Died』(REB-1851 ¥2,646-) など、若いジェyson・デビスを擁したアルバムがお薦めだ。

MH-1563 LONESOME RIVER BAND 『Turn on a Dime』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

サミー・シーラー率いるロンサムリバーバンド、18作目の最新作。ブルーリッジ系ブルーグラスの明るさと爽快感に、今ではラジオでメジャーカントリーを相手に戦えるポップ性を載せて、ブランドン・リックマン (gt) という素晴らしいシンガーソングライターのキャッチーな1曲目 “Her Love Won't Turn On A Dime” からモンローを髣髴させるツインフィドルのイントロではじまる “Gone and Set Me Free” はランディ・ジョーンズ (md) のボーカル、幽玄なアパラチアを感じさせる “Lila Mae” ……。そしてマール・ハガード作、オズボーンで知られる “Shelly's Winter Love” も見事に自分たち流にアレンジ、そして最後にはマイク・ハートグローブのフィドルを軸に、スムーズで美しいマンドリン、そしてオールドタイムを感じさせるサミーのバンジョーとで、彼らのインストヒット “Angeline the Baker” につづくお得意のフィドルチューンアレンジ “Cumberland Gap” まで13曲、現在米国ブルーグラスのフロントランナーのひとつ LRB の実力がいかんなく発揮されたコンボラグラス名作だ。

MFR-140812 SPINNEY BROTHERS 『Tried & True』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

近年ムーンシャイナー誌掲載のブルーグラスアンリミテッド誌 (BU) チャートでナンバーワンをヒットするスピニー・ブラザーズの通算11枚目の最新作。カナダのノバスコシア出身の45歳から49歳の4人組の2012年にケンタッキーのマウンテンフィーバーから発表されはじめたアルバムが、なぜ全米チャートで高い評

価を受けるのか……それはBUチャートを構成する全米ブルーグラスDJたちが筋金入りのトラッドグラスに対して特別な思い入れを持つ人たちだからだ。スピニーブラザーズはまさにドンビシャ、古き良きブルーグラスを技術ではなく実に真摯に演じる。兄アラン・スピニーの飾り気のないストレートな歌と弟リック・スピニーの朴訥なストレートバンジョーによるブラザーデュオ、そして20年以上一緒に演奏してきた「ベニー・マーティンとポール・ウォーレンのドローンとダブルストップが命」というマンドリンも担当するゲイリー・ダーリンブル (md)、そしてダーリン・ヘップ (bs) が創る、心落ち着くトラッドグラス作品。ちなみに現在年間200日以上のに米国ツアーをこなす人気バンドとなった彼らが、外国人初のBUチャート1位を記録した2013年の前作『No Borders』(¥2,646-)、そして全米デビューの2012年第1作『Memories』(¥2,646-) は、ともに在庫がある。

ROU-9170 BLUE HIGHWAY 『Game』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ムーンシャイナー8月号以来11月号まで、連続4ヶ月ブルーグラスアルバムチャート1位をつづけるブルーハイウェイの最新作。バンド結成20周年！以来なんと！結成時と同じメンバー!!で、セルダムシーンに通じる聴きやすさが高い評価を得ている。変幻自在なフラットピッキングとソングライティングのティム・スタッフォード、透き通ったテナーボイスと趣味良く飛ぶマンドリンとフィドルのショーン・レーン、今やブルーグラスドブの第一人者となったロブ・アイクス、几帳面なジェyson・パールソンのバンジョー、そしてティムとショーンと並ぶもうひとりのリードシンガー、ウェイン・テイラーのベース。すべての楽器が繊細に織りなすアンサンブルに囲まれて、東テネシー的アパラチア風トラッドグラスと、セルダムシーンのDCグラス的モダンさを兼ね備えた、スバ抜けたカリスマ的スーパーピッカー／シンガーがいるわけではないにも関わらずトップクラスのブルーグラスバンドとして20年間、着実な活動を続けるすばらしいバンドだ。

MFR-141028 CROWE BROTHERS 『Forty Years Old』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ジム & ジェシーを髣髴させる清涼なブラザーデュオで知られるジョッシュ (gt) とウェイン (bs) のクロウ兄弟の記念すべきコンビ40周年作品。1975年にバンジョー奏者レイモンド・フェアチャイルドと組んで以来、スモークマウンテン周辺の観光地などで一般客を相手にするエンターテイメント畑で活躍してきた彼らの面目躍如、ハंक・ウィリアムズの “Lost Highway” を1曲目に、

バック・オウエンズ “Excuse me, I Think I’ve Got a Heartache”、ほかにハンク・ロックリン “Send Me The Pillow” など一般の馴染み曲を随所に、またそのほかの曲も聴きやすいアレンジで、ノースカロライナのベテラン、スティーブ・サットン (bj,gitjo) やブライアン・ブレイロック (md) のジェシ・マクレイノルズを意識したブレイも聴きモノだ。エンタメに徹した40年、肩を凝らせず楽しめるブラザーデュオスタイルのブルーグラス。

COMP-4624 MICHAEL BARNETT 『One Song Romance』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

1曲目からノーム・ピケルニー (bj)、クリス・エルドリッジ (gt)、ポール・コワート (bs)、そしてイーファ・オドノバン (v) というパンチブラザーズ人脈に、主役マイケル・バーネットが参加するデドリージェントルメンからのドミニク・レスリー (md) というメンツでの物凄い！演奏。ほかにティム・オブライエン、デビッド・グリア、マイク・バブラベテランたちや天オルシャッド・エグルストン、サラ・ジャローズらを適材適所に配して12曲中インスト5曲、最先端からオールドタイムやケルトを感じさせる全曲聴き応え凄い21世紀ブルーグラス。15歳でジェシー・マクレイノルズのバージニアボーイズに参加、そして東海岸ボストンに移りパークリー音楽院を中心に活躍、トニー・トリシュカ・バンドをはじめ現在はデビッド・グリスマン・セクステットとデドリージェントルメンのフィドラーとして活躍するマイケルの超強力最新ソロ作。詳細はニューズレター #407 のブルーグラス新入荷参照

■インスト最近作／お勧め作

JLCE-2014 JULIAN LAGE & CHRIS ELDRIDGE 『Avalon』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

若きフラットピッキン天才革命児ふたり、ブルーグラス畑のクリス・エルドリッジとジャズ畑のジュリアン・レイジ。1939年製マーティン000-18と1937年製マーティンD-18を駆使して、ありがちな早弾き大会ではなく、互いの音とルーツを尊重するインプロバイズによるトーンと目くるめく音世界に酔いましょうぞ!! 父ベンセルダムシーンから “Mean Mother Blues”、“Keep Me from Blowing Away”、そして “Open Up the Window, Noah” など3曲ほか、ニューグラスリバイバルの “Ginseng Sullivan”、ガーシュイン名曲スタンダード “Someone to Watch Over Me” に、なんとジミー・ロジャーズ “Any Old Time” などのクリスの歌モノにフィドルチューン “Whiskey Before Breakfast” ほか、レイジのオリジナル3曲など、ビンテージマーティンの目くるめく音世界に

酔って下さい。たとえば、1920年代録音のジミー・ロジャーズのタイミングをそのまま、きっとニタニタしながら決めているふたりとか、父が生涯を楽しんでいるセルダムシーンの名曲を飾り気なく歌うクリスに寄り添うジュリアンとか……、リードのみならず気遣いのリズムギターにも注目して欲しい。ジャンルや奏法に関わらず、アコースティックギターファンにはぜひお薦めの、ギター小僧ふたりによる極楽ジャムである。

MCR-004 ALAN MUNDE & BILLY BRIGHT 『Bright Munde』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

アラン・マンデの最新作は、マンドリニスト、ビリー・ブライトとの共演作。バンジョーとマンドリンだけの録音で、10曲のオリジナルと2曲のトラッド、そしてビルモンチューンの全13曲集。まったく衰えないマンデの創作能力と独自のクリアなメロディ構成がマンドリンとのデュオという変則的な組み合わせを、素晴らしくユニークな音世界にしている。1946年11月生まれというから今年、68歳にしてこの正確さと創作意欲には瞠目！詳細はニューズレター #408 のインスト新入荷参照

AMA-1086 DAROL ANGER 『e-and'a』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

永遠のフィドル小僧、ダロル・アンガーがやってくれました！楽しい楽しい若手を集めたブルーグラスフィドル集!! デラ・メイの女性フラットピッカー、コートニー・ハートマン (g)、ギブソンブラザーズのジョー・ウォルシュ (m)、アンクル・アールやピーター・ローワン & トニー・ライス・カルテットで知られるシャロン・ギルクリスト (bs)、そしてブルーグラスとクロウハンマー双方を見事にこなすパークリー音楽院2012年卒、注目のルーカス・プール (bj) というメンバーで、ケニー・バイカーやジョン・ハートフォード作をはじめ、さまざまなタイプのフィドルチューンを縦横無尽なアレンジで聴かせる、楽器好きな人にはたまらない楽しい音遊び！

ニューズレター #407 のインスト新入荷参照

MH-1523 DANNY ROBERTS 『Nighthawk』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ザ・グラスカルズのマンドリン奏者ダニー・ロバーツの素晴らしい最新ソロ第2作。1曲目からモンロー風ストンプで度肝を抜くギターソロを聴かせ、2曲目のタイトルトラックはカンジェンの “Nightwalk” を思わせる “Nighthawk” はサム・ブッシュのフィドルとマンドリンがカッコイイぞ！サム以外に、マイク・コンプトンとロニー・マッカーリーのマンド仲間、そのほかクリスティン・スコット・ベンソン女史、オウブリー・ヘイニー、ジミー・マッティングリーらを配して現在ナッシュビル

最良のアコースティック／ブルーグラスのトーンとアンサンブルを聴かせてくれるマンドリン作品。

DNP-1326 DAVID NAIDITCH 『Bluegrass in the Backwoods』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

2005年のデビューソロ以来5枚目となるデビッド・ナイディッチ、ブルーグラスを中心にスウィングやケルティックな雰囲気も楽しませるクロマティックハーモニカのインスト作品。今作はクリスチャン・ウォード(fd)とシエラ・ハル(md)という若者ふたりをはじめ、ロブ・アイクス(db)、ステュアート・ダンカン(fd)とロン・ブロック(bj)らエースピッカーに加え、ジェイク・ワークマン(gt)という強烈な若いフラットピッカー(バンジョー奏者でもある)や大ベテランのデニス・キャブリンガー(bj)らを脇に、ブルーグラススタンダードの中でも美しい曲の数々に刺激的な音世界を創っている。クロマティックハーモニカがキッチリと曲のアウトラインを示した後、たとえばシエラの“New Camptown Races”や“Old Dangerfield”、“Little Rock Getaway”、またロンのバンジョーでの“Jerusalem Ridge”や“Road to Columbus”、ステュアートの“New Camptown Races”や“Lonesome Moonlight Waltz”などなど、そして何よりも、来日時にすでに正統派ブルーグラスフィドルの次代を担うと噂された若いクリスチャンの成長ぶりやジェイクの火の出るようなブレイクにウキウキする。ほかにもウエスタンスウィング定番“Gardenia Waltz”や“Faded Love”など、ハーモニカ作品だけどブルーグラスインスト集として秀逸な聴き応えだ。

■オールドタイム／フォーク最近作／お勧め作

COMP-4631 V.A. 『Dear Jean: Artists Celebrate Jean Ritchie』 CD 2枚組(本体 ¥2,750-) ¥2,970-

現在91歳のジーン・リッチー、アパラチアの炭鉱地帯ケンタッキー州ベリー郡バイパー生まれの偉大なトラッドフォークシンガーに捧げられた全37曲。ティム・オブライエン、ジョン・マカッチェオン、スージー・ボーガス、キャシー・マティア、サム・アミドン、ステュアート・ダンカン、プリンス・ブライトによって録音された驚くほどトラッドな1曲目“Black Waters”(アパラチア開発で汚染される水の歌)からジーン自身の“The Peace Round”まで、マウンテンダルシマーやオートハープなどとともに、ピート・シーガー、ジュディ・コリンズ、ジャニス・イアン、ベギー・シーガー、キャシー・フィンク&マーシー・マークサー、デイルアン・ブラッドリー

&アリソン・ブラウンほか、明確なアパラチアからのメッセージを持った素晴らしいアメリカントラッドフォーク企画作品。詳細はレター #407のオールドタイム／フォーク新入荷参照

JASMD-3540 V.A. 『Country Brothers - The Brother Bands of Country Music』 CD(本体 ¥1,980-) ¥2,138-

「カントリー音楽における兄弟バンド」と名づけられた1920年代から50年代まで、アメリカンハーモニのベースとなったさまざまなブラザーデュオを軸にした絶妙なコンビレーション23曲集。モンローブラザーズからベイルズ・ブラザーズ、1927年にバンジョーとカズーでヒット“Salty Dog Blues”を出したアレン・ブラザーズ(同曲は本作ではフラット&スクラッグスが手本としたモリスブラザーズ版を収録)や多分にテキサス的に洗練されたローンスターカウボーイズなどのラグタイムやジャグバンド系列サウンド、ユニークなドブロを伴ったディクソン兄弟の「ラリットネズミ」からメイナーズ兄弟のストリングバンド音楽ほか、ラウズ兄弟のオリジナルとされる“Orange Blossom Special”やドック・ワトソンで知られるデルモアの“Nashville Blues”ほか、スタンレーからルービンまで登場の楽しい兄弟物コンビレーションである。デュエットハーモニのときの声の同質性はもとより、20世紀はじめの移動距離の必然から生まれた家族音楽、さらには当時の女性エンタメビジネス参入への難しさなどから「ブラザーデュオ」のみならず、20世紀前半に「ブラザーバンド」が圧倒的に多かったことを証明する数々のバンドたちが一望できるとともに、20世紀後半にはポップ／ロックという名のもとに拡散していったアメリカンルーツ音楽のベースである「家族音楽」の最初のメガヒットを一望する秀作だ。

■カントリー最近作／お勧め作

BCR-040 FELLER & HILL 『Here Come Feller & Hill Again』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ブルーグラスとクラシックカントリー(1940～1960年代のホンキートンク系カントリー)の双方には明らかな使用楽器とサウンドの違いこそあれ、底辺に流れる生活感覚や文化には大きな差はない。フェラー&ヒルはそんなギャップを見事に埋める素晴らしいブルーグラスのバンド。ファロン・ヤングの“Forget The Past”やデイレイニー&ボニー“Never Ending Song of Love”、ベンチャーズの“10番街の殺人”などや、バック・オウエンズとバックルーズに愛を込めた“Ballad of Buck and Don”などの楽しいアレンジなど全13曲。

LDR-1007 SUZY BOGGUSS 『Lucky』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ベテラン女性カントリーシンガー、スージー・ボーガスの最新作はマール・ハガード曲集。都会的なインテリジェンスを感じさせるタイプのボーカルで歌われる濃いマール・ハガード(1937-)の世界観がとても新鮮である。保守的に見られがちなマール・ハガードだが、リベラルの代表であるジョーン・バエズやグレイトフルデッドからもカバーするように、その歌にはフツウの人々の本当の生活が見事に歌い込まれ、しかもここにも収められている“Today I Started Loving You Again”や“Silver Wings”、“The Bottle Let Me Down”や“Sing Me Back Home”など全12曲のメロディも特別に美しい。スージーが歌うマール・ハガードのカントリーソング。泣きの入らないチョットとポップな彼女のスタンスがいい……。

HOTR-7331 V.A. 『A Tribute to Ernest Tubb: Thanks A Lot Texas Troubadour』 CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

レスター・フラットと同じ、今年生誕100年を迎えたアーネスト・タブへの、新旧カントリーシンガー14名によるトリビュート作品。ジミー・ロジャーズに憧れ、ロジャーズ未亡人の紹介でレコードデビュー、1941年に“Walking the Floor Over You”でブレイクしたシンガーソングライターのアーネスト・タブ(1914-1984)。そののち1943年にナッシュビルのグランドオールオーブりに迎えられ、「テキサス・トルバドゥール (Troubadour、中世ヨーロッパの吟遊詩人たち)」という自身のニックネームを冠したバンドを結成、シングルストリングのギター奏法でタブサウンドを形作ったというジミー・ショートやスチールギターの普及に貢献したジェリー・バードら優秀なナッシュビルミュージシャンを配し、そのサウンドがカントリーの王道といわれる典型的なホンキートンクサウンドを創っていったとされる。

■映像もののお勧め作

BYGF-9122 V.A. 『Herschel Sizemore: Mandolin in B, A Tribute to a Bluegrass Legend』 DVD (カラー、55分) (本体 ¥2,750-) ¥2,970-

1979年、デル・マッカーリー初来日時のメンバーでの演奏とインタビューではじまる本編、ハーシャル・サイズモアという、ブルーリッジ地方のマンドリン界で圧倒的な影響力と支持を受けるミュージシャンズ・ミュージシャン。近年は「Key of B」のマンドリン名曲にしてジャムスタンダード“Rebecca”の作者として知られる彼が、夫婦揃ってガン宣告を受けたため2012年2月19日、仲間や彼を慕う若者たちが集まって開かれたベネ

フィットコンサートの模様と、彼の経歴や人となり、すなわちそのスムーズさとトーンを紹介するビデオ。デル・マッカーリーやセルダム・シーン、ブッチ・ロビンソンとジョン・ロウレス、サミー・シーラーと旧ジョンソン・マウンテン・ボーイズなど、9セッションによる演奏9曲と、パンチブラザーズとしてコンサートに出演していたクリス・シーラーをはじめ、デビッド・グリスマン、J.D.クロウやドイル・ローソンらのインタビュー（字幕なし）で構成された感動DVD。DVDの売り上げはハーシャル・サイズモア名義でブルーグラス・トラストファンズ（IBMAが創設した互助基金）に寄付される。

CCD-PW23 V.A. 『The Porter Wagoner Show Volume 23』 DVD(本体 ¥2,450-)¥2,646-

1960年から1981年まで、なんと686本の30分番組を残した「ポーター・ワゴナー・ショウ」、30分のTV番組6本をDVDにまとめた第23巻が今年新発売された。オープリランドのさまざまな施設で収録されたショウ（正味約22分）はポーターのウェルカムソングからゲストの歌、ポーターのバンド、ワゴンマスターズのインスト（マック・メゲーへのフィドル、ブルース・オズボーンのエレキら）、レギュラー女性シンガーの歌（今作は1976年以降の作品で、ドリー・パートンに代わってレギュラーになったリンダ・ムーア）、ポーターの歌、コメディ、ポーターのゴスペル歌、そしてゲストの歌で終わる。ノスタルジックな古き良きカントリー、1970年代はじめのアメリカの田舎エンタメが詰め込まれた映像集。お宝があちこちで見つかる(!?)、現在24巻まで発表されているお宝映像、それぞれの出演者などは、お問い合わせください。本作、第23巻6エピソードのゲスト出演者はマックス・フェイガン、シェリル&テリル、マット・ダベンポート、サウンド70シンガーズ、ブレンダ・ケイ、マック・メゲーヘ・グループ。

MH-1063D DOYLE LAWSON 『Through the Years』 DVD(本体 ¥3,800-)¥4,104-

もう10年前になる2004年春、ドイル・ローソン&クイックシルバーが結成25周年を祝ったチョー豪華な記念コンサートから、全32曲2時間に及ぶ素晴らしいライブ映像（ムーンシャイナー誌2004年9月号に詳細）の大ベストセラー。別名「School of Bluegrass」とも呼ばれるドイルの率いるクイックシルバー、本作では歴代のメンバーが一堂に会し、1980年代以降のブルーグラス主流派をリードしたスマートなソリッドグラスが、2004年当時の現役メンバー（ジェイミー・デイル、パリー・スコット）のほか、つぎつぎと迎えるラッセル・ムーア、ジム・ミルズ、テリー・バウコム、スティーブ・ガリー、ジョ

ン・ボウマンなどの歴代メンバーゲストとともに、現在最高峰のブルーグラスライブが堪能できる秀作ライブ映像集。

SHA-622D V.A. 『You Are There - Classic Early Films of Legendary Performers 1952-1954』 DVD (本体 ¥3,150-) ¥3,402-

そしてシャナーキ・歴史シリーズ DVD の最新作は、1950 年代中頃、なんと 35mm カラーフィルムに収められたビル・モンローとブルー・グラス・ボーイズ！(ジャッキー・フェルプス g、チャーリー・クライン bj、アーニー・ニュートン bs、そしてトリプルフィドルにレッド・テイラーとゴードン・テリーとボビー・ヒックス)。この DVD 作品は明らかに、この貴重なビル・モンローの映像 6 曲 (ニコリともしない強面モンロー)、そしてハンク・ウィリアムスで現存するたった 4 曲の白黒フィルムを収めることを目的に作られたと思しき作品！(映像自体はすでに DVD 化されたもの)。ほかに、スマートで浚刺としたベニー・マーティンの素晴らしい切れのフィドルが堪能できる “Me and My Fiddle”、そしてアイラとチャーリーのルービン・ブラザーズが 2 曲 “I Don't Believe You've Met My Baby”、“Love Thy Neighbor”、グランパ・ジョーンズが奥さんのラモナと登場して 5 曲、あと、サム&カーク・マギー、ストリングビーン、ロンゾ&オスカーなど、意図的に当時流行のホンキートンク人気シンガーを加えずにオールドタイムの伝統に則したアーティストばかりを集めている。「アナタはそこにいた！」……60 年前、ブルーグラスもカントリーも、ロックという世界規模の商業主義に見舞われる直前、まだ音楽がかりうじてラフなまま生きていた時代の超貴重なお宝必見ビデオ。

VES-13044 DOC & MERLE 『An Intimate Documentary』 DVD (カラー、85 分) (本体 ¥3,150-) ¥3,402-

アパラチアの伝承音楽を世界中に知らしめた最大の功労者、ドック・ワトソン。一歳年下の親友、アール・スクラッグスを追うように亡くなったのは 2012 年 5 月 29 日、享年 89。その人柄のにじみ出たクリアなギターピッキングと、何より慈愛に満ちたボーカルが世界中にアパラチアン・トラッドの素晴らしさを広めたのだ。そんなドックの絶頂期、コンサートやアットホームなジャムセッション、盲目であることを感じさせない日曜大工をしながらのインタビュー、古い写真や映像などを集めドックの音楽 (16 曲収録) と素顔に迫ったドキュメント秀作。1970 年に収録された TV 番組がボーナス映像 (Shady Grove/Peach Pickin' Time in Georgia/Black Mountain

Rag/Tom Dooley ほか全 8 曲) として収められている。1985 年 10 月 23 日、自宅農場のトラクター事故で亡くなった息子マール・ワトソンの思い出に捧げられた秀作映像ドキュメントは、「まるで近所に住む古くからの友人のように感じられる」と、地元紙が評したドック・ワトソンというミュージシャン／人間を活写した「Intimate(親密な)」映像の決定版！

VES-13059D NORMAN & NANCY BLAKE 『Video Collection 1980-1995』 DVD (本体 ¥3,150-) ¥3,402-

古いモンコレクターで伝統音楽に限りない愛着を持つノーマン&ナンシ・ブレイクのライブ映像集は、アパラチア幻想を感じさせる深さだ。

SHA-212D DAVID GREISMAN QUARTET 『Classic Dawg』 DVD (カラー、58 分) (本体 ¥3,150-) ¥3,402-

衝撃的な来日と共に世界中の新しい価値観と可能性を持ち込んだデビッド・グリスマン・クアルテットの貴重なライブ映像。

SHA-604DVD V.A. 『High Lonesome: The Story of Bluegrass Music』 DVD (カラー 95 分) (本体 ¥3,150-) ¥3,402-

ビル・モンローの語りで “Back in the days of my childhood, in the evening when everything was still...” とはじまる感動的な「ブルーグラス音楽の物語り」。「ブルーグラスとは何か……」、それを創ったブルーグラス第一世代の本人たちが証言するブルーグラス紹介のもっとも優れた作品とされる 1991 年、若き女性監督レイチェル・リープリング脚本・監督の劇場公開ドキュメンタリー映画の DVD 版だ。ブルーグラスの生まれた風景が、そして世界に広まる様子が、貴重な映像 (1971 年のモンロー & フラットの再会／仲直りシーンは感動だぞ) やサム・ブッシュ、ジミー・マーティン、アリソン・クラウス、故ジョン・ダッフィらへのインタビューと共に見事に描かれている。素晴らしいナレーションはマック・ワイズマン。字幕なしの英語版だが、ブルーグラス・ファンなら、必ず持っておきたい映画である。

楽器関連作品

(楽器奏法や教則など、さまざまなご相談に関してはミュージシャン歴豊富なスタッフがアドバイス、また楽器につきましても、本体やパーツ／アクセサリーなど、ビンテージを含めて各種取り扱っています。お気軽にお問い合わせください)

■ギター

ST-2008 STEVE WARINER c.g.p. 『My Tribute to Chet Atkins』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

メチャクチャすばらしいトーンで演じられるアトキンズ・スタイルのエレキギターの美しいこと!! スティーブ・ウォーリナー、1976年にチェットに見出されてカントリースターになった彼が、これ以上なくチェットを畏敬するそのギターテクの見事なこと。ジェフ・ガーンジー (2000年5月、ジェフ・ホワイととともに来日) のすばらしいフィドル/マンドリンの“Back Home Again Indiana”、ジミー・マッティングリー (f) は“6120”をスティーブと共作、そのほかはシンプルで控え目なデビッド・ハンゲイトのベースとドラムスを基本に、ランディ・ハート (piano) ら、極力抑えたバックで聴かせる愛と尊敬に満ちた極上のギター音楽をご賞味あれ。ちなみに「c.g.p.」とはチェットの造語で「保障付ギター奏者 (Certified Guitar Player)」のこと。

TSQ-2851 V.A. 『Imagination Anthem Volume 6 - Origins of American Primitive Guitar』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

米国南部のギターの原点、少なくとも録音がはじまった20世紀の初期に残された素晴らしい録音14曲集。タイトルにある「アメリカン・プリミティブ・ギター (アメリカ原点ギター)」とは、フィンガーギタリスト、ジョン・フェーイ (1939-2001) が提唱したアバンギャルドなギタースタイル (ちなみにフェーイの自伝的著書のタイトルは『How bluegrass music destroyed my life』だっ!)。ここに収められた14曲は、カントリーブルーズとヒルビリーストリングバンドのギタリストたちで、アメリカン・プリミティブ・ギタースタイルの由来 (オリジン) ということ。つまり、アメリカンギターの源泉、より深くギターを学びたい方にはおあつらえ向きのコンピレーションである。本作に収められているケンタッキー州ルイビルの黒人ギタリスト、シルベスター・ウィーバーの1923年録音の“Guitar Rag”と“Guitar Blues”はカントリーブルーズの最初の録音と目され、知られる限りにおいて初めてスライドギターが使われた録音だという。前者はギッジョー (ギターバンジョー) が使われ、のちにボブ・ウィルスのバンドがカバーして“Steel Guitar Rag”として発表している。そのほか、白人のライリー・パケットやサム・マッギー “Buck Dancer's Choice” など、アメリカンギター史のパイオニアたちがズラッと揃った秀作。

■バンジョー

(ムーンシャイナード連載のチチ松村「バンジョー祭り」、

世界のバンジョー音楽をお見逃しなく!!)

PC-6514 KRISTIN SCOTT BENSON 『Second Season』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

2008年から2011年まで、4年連続IBMAアワードで、女性としてアリソン・ブラウン以来17年ぶりに、最優秀バンジョー奏者受賞をつづけた、現在ザ・グラスカルズのクリスティン・スコット・ベンソン、2008年ソロ第2作。2002年のデビュー作『Straight Path』(PC-6502 ¥2,646-) から6年、夫のウェイン・ベンソン (サード・タイム・アウト m) とともに子育てに励みながら創り上げたバンジョー集。オリジナルとトラッド・アレンジにボーカルもの4曲、ウッディで上品なバンジョーの響きを丁寧に表現する。ムーンシャイナード 2009年1月号吉岡正の「闘魂バンジョー」特集参照。

PATUX-245 TOM NEAL 『Banjoland』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ウォルター・ヘンズリーのチューナー名曲“Walt's Breakdown”やケニー・ベイカーのフィドルで有名になりジミー・アーノルドのアレンジで知られる“Charmaine”、マンドリン定番“New Camptown Races”や“Shenandoah Vally BRD”ほか、スタンダードインストを含む14曲、ベテランバンジョー奏者トミー・ニールの味わい深い秀作。マイケル・クリーブランド (f)、フランク・ソリバン (m)、マーク・コスグローブ (g) らのスーパーピッキングなトラッドグラスを楽しめる6曲に、自身を含むジョン・グリック (f)、ラス・フーパー (d)、ディック・レアード (m) らとのバンド、「ブルーストーン」にジェフ・プレズリーのリードボーカル4曲を迎えたセットでのこなれたトラッドグラスのドライブなど、スクラッグスはもちろんだが、それだけではなく都会ワシントンDCの気風を受け継いだフレキシブルなバンジョーがすばらしい。近年、ワシントンDc地区に本拠を置くパタクサント・レコード、知られざる才能を世に引き出すすばらしい仕事をしている。

■マンドリン

PC-6501 JESSE BROCK 『Kickin' Grass』 CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

リン・モリス・バンドで名を上げたジェシー・ブロック、2002年発表のデビュー、現在唯一のソロ作品。ワシントンDCグラスの系譜を引くハッキリくっきりマンドリンが信条のとても気分スキリマンドリン集。マイケル・クリーブランドのバンドに在籍していた2009年にIBMA最優秀マンドリン奏者を受賞している。ロン・スチュワート、ジェイソン・カーター、トム・アダムズ、ロブ・アイクスらとの“Red Rooster (She'll Coming

'Round the Mountain)”, “Home Sweet Home” (key of D), “New Camptown Races”, 歌モノでは “She's No Angel”, “The Girl in the Blue Velvet Band” などのスタンダードなど、聴きやすい選曲。現在はトラッドグラスのオウディ・ブレイロックのレッドラインに所属しながら地元メイン州でマンドリンを教えているという。性格が伺えるとても几帳面で生真面目なすばらしいマンドリン作品。

PATUX-234 CORY PIATT『Daydreams』CD (本体 ¥2,450-) ¥2,646-

7歳でマンドリンを弾きはじめたというコリー・ピアットの2012年デビュー作。そのすごいマンドリンを、いまや若者のスタンダード・ジャム曲となりつつあるダロル・アンガーの“Ride the Wild Turkey”ほか、ボーカル曲を4曲に自身のオリジナルインスト曲を配した、バラエティに富んだマンドリンインスト集。バックアップには今もっとも旬の若手スーパーピッカーたち、クレア・リンチ・バンドのブライアン・マクドウェル（ギターもすごい！）のフィドルとジェイク・スタージェル (g) のふたりに、スコット・ベスタル (bj) とランディ・コアズ (d)、マーク・シャッツ (bs) というベテランが脇を固める。今月紹介のドナ・ヒューズ最新作でも活躍のコリー、若手のマンドリンアルバムを楽しもう。

■フィドル

RC-113 JIMMY CAMPBELL『Pieces of Time』CD(本体 ¥2,450-)¥2,646-

2003年、事故で他界したザ・サイドメンのフィドラー、ジミー・キャンベルが97年に、わがレッドクレイレコードから発表した最高作。マイク・コンプトン (m)、ロニー・マッカーリー (g)、ダナ・カップ (bj)、マイク・パブ (bs) らのバックに、ビル・モンローが参加、ビルの最後の録音でもある（モンロー最後の録音のひとつが日本のレッドクレイにあるって、ちょっと凄くない……!?”)。“Down Yonder”, “Jenny Lynn”, “Soldier's Joy” 他、すばらしいケニー・ベイカー系の正統派ブルーグラス・フィドル集。

CO-2733 KENNY BAKER & BOBBY HICKS『Darkness on the Delta』CD(本体 ¥2,450-)¥2,646-

1980年発表、ボビー・ヒックスとのツイン・フィドル集。ケニーがブルーグラス・フィドルに目覚めたのがビル・モンロー一連のツイン／トリプル・フィドルのインスト。そのボビーがビル・モンローのブルー・グラス・ボーイズで1950年代に録音した“Roanoke”や“Panhandle...”などを含む、ちょっとスウィングーでオシャレなツイン・フィドル集。バックアップはアレン・シェルトン (bj)、パッ

ク・ホワイ／ラリー・スレッジ (m)、ベニー・ウィリアムズ (g)、ロイ・ハスキー Jr.(bs) というメンツ……。

■ドブロ

RC-121 JOSH GRAVES『Just Joshin'』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

1963年に発表されたジョッシュ・グレイブス (1927-2006) とジェイク・ターロック (1922-1988)、フラット＆スクラッグス時代の唯一のデュオ・アルバムが3曲の未発表インスト録音を含めて、わがレッド・クレイ・レコードから初CD化。バックにはカーティス・マクピーク (bj)、チャビー・ワイズ (f)、ハワード・ワッツ (bs) ら。ジョッシュのリードにジェイクのテナーのデュオ・ボーカル物と“Dobro Rhumba”や“Just Joshin'”など6曲のドブロ・インストで構成された超貴重な全15曲。ブルーグラス・ドブロ奏者必携／必聴／必写の1枚！

ROU-35773 MIKE AULDRIDGE, JERRY DOUGLAS, ROB ICKES『Three Bells』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

これは現在のドブロ界をリードするジェリー・ダグラスがロブ・アイクスを誘って、すべてをマイク・オルドリッジのために捧げた素晴らしいアルバム。その名も「谷間の三つの鐘 (Three Bells)」、まさに3人の偉大な弦楽器のトーン追求者が現出した究極のドブロ集。これほどに美しい弦楽器トーンが味わえるレコードは、そうはない！そしてたった一本のパーが弦の上で織りなす見事なボイス（和声）に瞠目する、楽器の種類を越えて弦楽器を愛するすべての方に、心からお勧めしたい秀作である。

■ベース

K2B2-3569 BUELLGRASS『All Strung Out. Adventures in Buellgrass』CD(本体 ¥2,450-) ¥2,646-

ジャズ・ベシストのビュエル・ネイドリンガーが率いるビュエルグラスの1982年から2005年までの未発表曲集。ビル・モンローとセロニアス・モンクの作品を演じた1曲目から4曲目は96年録音のダロル・アンガーとリチャード・グリーンらとの弦楽四重奏。99年録音の5曲目から7曲目はトラッドグラスやブラザー・デュオで、天才ダニー・バーンズ (bj) やロバート・ボウリン (f,m,g) との録音。2005年録音は、ルーシー・ドーンフェルドらとオールドタイムのクルーズを弦楽五重奏にアレンジ。そして最後、11曲目から13曲は1982年の、アンディ・スタットマン、リチャード・グリーンらとのライブでの「ダニー・ボーイ」など。どこを切ってもスリリングでユニークな楽しい演奏が楽しめる。

楽器、その他……

(スタッフは全員、バリバリピッカーです。どんなことでもお気軽にお問い合わせください)

● BM-100N BLANTON ARMY NAVY SPECIALS (本体 ¥23,000)¥24,840-

これからの季節、こたつで手軽に楽しめる日本製廉価マンドリン。原型は第一次世界大戦の頃、戦闘の中、兵士が塹壕の中でデザインしたということからアーミー・ネイビーの名前が付けられたとされています。

楕円形のフラット・トップのボディにラウンド・ホール、350mmと若干、短めで軽量ながら、しっかりした音質です。ウクレレ並みの手軽さでメロディ・プレイもコードストロークによる伴奏もばっちりです。

● BM-IUCCI Iucci Banjo Mute (本体 ¥3,500-)¥3,780-

究極のバンジョーミュート。バンジョー・ブリッジの両サイドを挟んでからネジで締めて調整可能ですので、望み通りの消音に調整できます。

● HSC-60 ヒーロー・シャイン・クロス (本体 ¥600-) ¥648-

バンジョーの金属部部の手入れに便利!!この新しく、革新的なポリッシングクロスは、汚れ、手垢、曇りを取り除くだけでなく、ギター、バンジョー、マンドリンで使われるメタルパーツの磨きに最適です。特にクロム、ニッケルやアルミなどのハードウェアの艶や輝きを取り戻すのに効果的です。このクロスは、糸巻き、フレットワイヤ、ピックアップカバー、ブリッジ、トレモロやテールピース、ストラップボタンなどをきれいにし、磨くための処理をおこなっています。クロスにしみ込ませた特別な成分はメタルの表面を復活させ、保護膜を作ります。これにより、曇りを防ぎ艶を長持ちさせます。

[ブルーグラス・アンリミテッド誌 パンパーステッカー入荷]

● BU-ST『ブルーグラス・アンリミテッド社のバンパー・ステッカー』各(本体 ¥300-)¥324-

30年以上に渡り、ベストセラーを続けていますブルーグラス・アンリミテッド社のバンパー・ステッカー全6種類が揃いました。

I LOVE BLUEGRASS/BUEGRASS MUSIC FINGER PICKING GOOD/BUEGRASS MUSIC HEARIT, PLAY IT, LOVE IT!/MY GRASS IS BLUE/HAVE YOU HUGGED YOUR BANJO TODAY?/CLEAN UP AIR PORLUTION PLAY BLUEGRASS MUSIC

輸入雑誌

■フラットピッキング・ギター誌

米国産、隔月刊の掲載全タブ譜対応 CD 付きフラットピッキング・ギター誌。ブルーグラスからスウィング/アーリージャズまで。一冊でさまざまなフラットピッキング奏法が学べる人気雑誌。

FGM-19.1 最新「2014年11～12月号」CD付き70頁 Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-

ハープ・ピーダセン (かつてペダーセンと表記) のカバーストーリーほか、6月に ETSU バンドを率いて来日したダン・ボナー特集とタブ譜 “Where Grass Won't Grow”、タブ譜は、スティーブ・カウフマン “Cattle in the Cane”、ブラッド・デイビス “John Henry”、オリンスター “Kiss Me Waltz”、ディックス・ブルース “Whiskey Before Breakfast”、アダム・グレンジャー “Durango's Hornpipe”、スティーブ・ボティア “Blue Moon of Kentucky” ほか、タブ譜満載 CD 付きの 66 頁。

FGM-18.6「2014年9～10月号」CD付き70頁 Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-

デラ・メイの女性フラットピッカー、コートニー・ハートマンをカバーストーリーに、タブ譜はダロル・アンガーらとの新ユニットのアルバム『e-and'a』から “Farewell to Trion”、そしてもうひとりの女性ピッカー、ダニエル・ヨーザー “Oh Lady Be Good”、ハイライトにはビリー・ストリングス “Beaumont Rag”。そのほかコラムには、ジョー・カーのリズムギター「ヴァンプの意味」、ダン・ハッカビーの初心者 “Uncle Pen”、スティーブ・カウフマン “Woodchopper's Reel”、ジョン・カーリニのネクストレベル “Kool Kitsch”、ブラッド・デイビスのナッシュビルフラットトップは “Sitting on Top of the World”、キャシー・バーウィック “Calliope House”、オリンスター “Winder Slide”、ソロの創り方 “More Pretty Girls Than One”、ディックス・ブルース “Molly and Tenbrooks”、インプロビゼーション “Full Contact”、フィドルチューン “What to Do When”、スティーブ・ボティア “Rocky Road Blues” など、音源つきタブ譜満載の 70 頁。

FGM-18.5「2014年7～8月号」CD付き70頁 Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-

Home From The Forest/Story Point/Kool Kitsch/The Push by Brad Davis/Over The Waterfall/More Pretty Girls Than One/Beautiful Brown Eyes Part II/Back To Georgia/Say Old Man/Lucy Campbell/True Life Blues.

ホームспан教則の総帥ハッピー・トラウムをカバーに、上記初心者から上級者までのタブと音源、ジョー・カーによる「G」でのリズムギター、ブラッド・デイビ

スのナッシュビルギターテク、インプロバイズからダン・クレアリーのコラムまで、フラットピッキングギター上達に関するあらゆる情報満載の70頁。

**FGM-18.4 「2014年5～6月号」CD付き70頁
Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-**

Cheat Mountain, Ebenezer & Johnny Don't Get Drunk/Chinquipin Hunting/Cottage Hill/Durang's Hornpipe/Elzic's Farewell/Falls of Richmond/Indian Corn/Jaybird /Little Billy Wilson/Mississippi Sawyer/New Five Cents/Kentucky Lake/Old Grey Mare/Rock The Cradle Joe/Sail Away Ladies/Sally In The Garden/Sally Johnson/Shove The Pig's Foot/Squirrel Hunters/Ways of the World.

以上20曲、ありきたりのフィドルチューンではなく、チョットシビアでクロートっぽいオールドタイムチューンの数々をレパートリーにしてみませんか？ 最新号はまるごと一冊、「オールドタイムチューン」号です。挑戦のし甲斐がありますよ！

**FGM-18.3 「2014年3～4月号」CD付き70頁
Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-**

Dooley/Bitter Creek/Pupville/Constitution March/Golden Slippers/Beautiful Brown Eyes/Neenah/Neal Gow's Lamentation/Toy Heart.

ザ・ディラーズのロドニー・ディラードをカバーストーリーに、ビッグ・スミスのギタリストやデビッド・マラビラら、ダダリオの「NSアーティストカポ」紹介などの特集に上記、各コラム（初心者から上級者までさまざまな切り口で）で取り上げた曲のタブ譜とCD音源。

**FGM-18.2 「2014年1～2月号」CD付き70頁
Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-**

Pretty Bird/Little Girl of Mine in Tennessee/San Antonio Rose/Pupville/John Hardy/Little Annie/Stetson's #2/Long Journey Home/Sand Coulee Reel/Soppin' The Gravy/Cotton Patch Rag/We Live In Two Different Worlds.

ギリアン・ウェルチの相方で、アグレッシブなダウンピッキングで知られるデビッド・ロウリングスのカバーストーリーほか、マウンテンハートのセス・テイラー、アラン・ジャクソン・バンドのスコット・コニー、そして楽器ルシアーのケン・フーパーらの特集。それに上記、それぞれに初心者やコード分解、ナッシュビルスタイルなど各コラムに応じたタブ譜集。

**FGM-18.1 「2013年11～12月号」CD付き70
頁 Tab-Book (本体 ¥2,500-) ¥2,700-**

スウィング集。品切れ、取り寄せ可。

以上のほか、現在の在庫は2013年1-2月号、2012年11-12月号、2012年5-6月号、2011年7-8月号、2011年5-6月号、2010年3-4月号、2010年1-2月号、2009年11-12月号、2009年7-8月号、2008年3-4月号、2007年1-2月号、2006年7-8月号のみです。（品切れ号、取り寄せ可）

■バンジョー・ニューズレター誌

世界唯一の米国産バンジョー専門月刊誌。毎月タブ譜満載（ウェブサイトから「MP3」で音源入手可!!）、バックナンバーもお問い合わせ下さい。探しておられるタブ譜の曲名や演奏スタイル、またお気に入り奏者の特集も探します。収蔵曲のCDやDVDなども在庫していますので、お問い合わせください。

BNL-14/11 最新2014年11月号 ¥648-

19世紀の初期のバンジョーを再現、製作するグレッグ・アダムズをカバーストーリーにスティーブン・ウェイドがインタビューするほか、初期バンジョー奏法の“Briggs Jig”と“Grapevine Twist”ほか、タブ譜はアラン・マンデの最新アルバム『Bright Munde』より“Like Sonny”、アール・スクラッグスはジャム録音の“Traveling Highway Home”、トム・アダムズ“Unchained Melody”、初心者には“Little Maggie”ほか、ファーストコロリティ社の「焼き入れ」ブリッジについてなどの記事とバンジョー情報満載の32頁。

BNL-14/10 2014年10月号 ¥648-

今、絶好調のジョー・マリンスをカバーストーリーにタブ譜は“Wild Mountain Honey”と“They Can't Love Jesus More Than Me”（ともにジュニア・シスクとのアルバム『Hall of Fame Bluegrass!』より）のほか、ホットライズ『When I'm Free』から“Glory in the Meetinghouse”、DC地区のバンジョー奏者オムニバス『Patuzent Banjo Project』より、マーク・ボレン“Bolen's Bounce”、アラン・マンデとビリー・ブライトの『Bright Munde』より“Everybode Say Wow”、トム・アダムズは1982年のクロスビー、スティルス&ナッシュの“Southern Cross”ほか、オールドタイムや、ロジャー・シミノフの弦のテンション研究などのほか、バンジョー情報満載の32頁。

BNL-14/09 2014年9月号 ¥648-

フランスのバンジョー奏者、ズィーラ(Gilles)・レザード(Rezard ラストネームの発音は不明)のカバーストーリーとタブ譜は、“Transatlantic Breakdown”、“Broce'liande”、“Blue Musette”。そのほか、アール・ス

クラッグス “Are You Washed in the Blood?” (1999 年 ジャムテープより)、トム・アダムズはスクラッグス スタイルで弾く “Whiskey Before Breakfast”。また、ケン・ パールマンのメロディッククロウハンマーは “Jerusalem Ridge” ほか、バンジョー情報満載の 32 頁。

BNL-14/08 2014 年 8 月号 ¥648-

J.D. クロウが引退を決めたとき、残されたニューサウスが J.D. の後釜として指名した若手ジャスティン・ジェンキンズ (現グラスタウン) をカバーストーリーに、彼の “Messin' with Sasquatch” とグラスタウンでの “Grass Stain” のタブ譜ほか、カポで有名なトム・マッキーニーのカポ話、アール・スクラッグスは 1982 年 5 月 20 日のジャムから、なんと! “Amazing Grace”、トム・アダムズはレスター・フラット名曲 “Love Gone Cold” のローボジとハイボジ、初心者 “Wild Bill Jones” ほか、充実のクロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 32 頁。

BNL-14/07 2014 年 7 月号 ¥648-

バンジョー界の鬼才、クロウハンマーとスリーフィンガー奏法でバンクから前衛ジャズまでをこなすダニー・バーンズ (53) をカバーストーリーに、そのタブ譜は “Falling Hard”、そのほかトム・アダムズ “Nine Pound Hammer”、トニー・トリシュカ “Purple Trees of Colorado”、ビル・エマーソン “The State Line”、アール・スクラッグス “Landslide” ほか、クロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 32 頁。

BNL-14/06 2014 年 6 月号 ¥648-

マーティーカ・レイク 16 歳、弟ウィリアム 12 歳とともにフラット&スクラッグスの完コピを目指す女子高生がカバー。ハッキリ言って、その完璧なエコーのかけ方とともに、メチャ上手い (Martteka Lake で検索)。弟はもちろん、サムとフィンガービック、声変わり前なのにレスターしているゾ!? ほかに「アフリカからアパラチアへ」というプロジェクトのジェイミ・ストーン特集とタブ “Soundiata”、ナッシュビルのプログレ奏者チャールズ・バトラーのインタビューとタブ “Joy”、ほかタブ譜は、トム・アダムズ “East Virginia Blues” のハイボジション、マーティ・カトラー “Gold Rush”、アール・スクラッグス “Buck Creek Gal” ほか、クロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 32 頁。

BNL-14/05 2014 年 5 月号 ¥648-

イェン・クルーガーのカバーストーリーとタブ譜は “Night Sky” と “The Three Laughing Monks” の 2 曲ほか、トム・アダムズはヘンリー・マンシーニの “Moon River”、アール・スクラッグスはブラザーオズワルドと

のジャムにおける “Crazy Blues” (“Dear OLd Dixie” と同じコード進行をどう始末するか!?)、バックアップはノーム・ピケルニー “Lonesome Moon Light Waltz”、初心者は “Beautiful Brown Eys” ほか、クロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 40 頁。

BNL-14/04 2014 年 4 月号 ¥648-

ブルーグラス史家、ニール・ローゼンバーグ博士のカバーストーリー。タブ譜は、トム・アダムズのアレンジする TV ドラマシリーズ『フレンズ』のテーマ曲 “I'll Be There for You”、フレッド・ゲイガーはダロル・アンガー『Fiddlistics』から “Dysentery Stomp”、ジャネット・デイビスによるビル・モンローの “Lonesome Moonlight Waltz” のリードとバックアップ、イアン・ペリーのフィンガーボード探検には “Alabama Jubilee” などのほか、クロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 32 頁。

BNL-14/03 2014 年 3 月号 ¥648-

今年 1 月 27 日、94 歳で亡くなったビート・シーガー追悼特集号。タブ譜はトム・アダムズ「オペラ座の怪人」より “Music of the Night”、アール・スクラッグスは極めて珍しい “Bill Cheatham” のリード! (1992 年、ジョン・ハートフォードが録音に成功した貴重な一瞬だったという!!)、ケルト系有名曲 “Drowsy Maggie”、先月号からつづくベラ・フレック・インタビュー②とオリジナルのクラシック “Movement 2: Hunter's Moon”、トニー・トリシュカ探譜のビート・シーガー “Quite Early Morning” などのほか、クロウハンマーのタブ譜を含むバンジョー情報満載の 40 頁。

BNL-14/02 2014 年 2 月号 ¥648-

ベラ・フレックのカバーストーリーは、初のクラシック作品『The Impostor』(本体 ¥2,650-) への取り組みとノウハウなどインタビューの Part 1 と、タブ譜は同アルバムからナッシュビル・シンフォニーとの第一楽章 “Infiltration” ほか、タブ譜はビル・エマーソンのカントリージェントルメン時代の名演 “Teach Your Children”、トム・アダムズ “Wagon Wheel”、アール・スクラッグスは珍しいレイ・プライスとのセッションから “I Can't Go Home Like This”、フィンガーボード探検 “Man of Constant Sorrow”、初心者 “Red River Valley” ほかクロウハンマーのタブ譜も充実、バンジョー情報満載の 40 頁。

BNL-14/01 2014 年 1 月号 ¥648-

1960 年代から活躍する大ベテラン、トム・ニールのカバーストーリー (トム・アダムズの愛情たっぷりインタビュー) と “Tyler's Tune” (昨年発表のアルバム

『Banjoland』¥2,646-より)ほか、アール・スクラッグスは“Four Walls Around Me”、ピーター・ワーニック“Nellie Kane”など、バンジョーに関するさまざまな情報が満載。

■ブルーグラス・アンリミテッド誌

米国最大のブルーグラス月刊専門誌。お探しの記事などバックナンバーもお問い合わせください。

BU-14/12 最新 2014 年 12 月号 ¥1,080-

マイケル・クリーブランドのカバーストーリーほか、IBMA「World of Bluegrass」写真集、アグレッシブな若手モンローマンドリン奏者クリス・ヘンリー、トニー・ライス・クローンともいわれるリチャード・ベネット、ジョージア南部のフィドラー、マックス・ティルマンの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 56 頁。

BU-14/11 2014 年 11 月号 ¥1,080-

ボビー・オズボーンのカバーストーリー「オーブリに 50 年」ほか、ワイアット・ライス、楽器ギア (小物) について、46 年の歴史を刻むウエストバージニアのローカルバンド、ブラックマウンテンブルーグラスボーイズ、ラルフ・スタンレー 2 世などの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 56 頁。

BU-14/10 2014 年 10 月号 ¥1,080-

ムーンシャイナー 9 月号と同じ!アールズ・オブ・レスターのカバーストーリーほか、ノーム・ピケルニー (ムーンシャイナー 5 月号と同じ!?)、レベッカ・フレージャー、リチャード・スミス「ミュージシャンと象、象牙取引について」などの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 64 頁。

BU-14/09 2014 年 9 月号 ¥1,080-

カバーストーリーはブルーグラス第一世代の中でも、もっともオリジナルブルーグラスバンドに近いマック・ワイズマン、今年 5 月に 89 歳を迎えた今も、1950 年代と同じキーで歌っているとの事、素晴らしい! そのほか、セルダムシーンのダドリー・コンネル、昨年 10 月 10 日に永眠したジム・シュエイト追悼、楽器や CD などの通販会社、エルダリーインストゥルメンツなどの特集ほか、米国ブルーグラス情報満載の 64 頁。

BU-14/08 2014 年 8 月号 ¥1,080-

ローリー・ルイスをカバーストーリーに、ジェイムズ・アラン・シェルトン追悼、ミッチ・ジェインの思い出、レイモンド・マクレイン、グレイフォックスフェスの主催者メアリー・ダブほか、米国ブルーグラス情報満載の 64 頁。

BU-14/07 2014 年 7 月号 ¥1,080-

バルサム・レンジのカバーストーリーほか、アダム・ステッフィ、ジャック・タトルのハワイとブルーグラス、ジム&パレリー・ゲブハートほかの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 72 頁。

BU-14/06 2014 年 6 月号 ¥1,080-

ロンダ・ビンセントのカバーストーリーほか、ジョージ・シャフラー追悼、ドン・リグスビー、アリス・ジェラードらの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 76 頁。

BU-14/05 2014 年 5 月号 ¥1,080-

デビッド・グリスマンのカバーストーリーほか、ブライアン・サットン、ジョン・マキユエン、アイリーン・ケリーの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 76 頁。

BU-14/04 2014 年 4 月号 ¥1,080-

デル・マッカーリーのカバーストーリーほか、ロスト&ファウンドの故デンプシー・ヤング、ミシェル・ニクソン&ドライブ、マーク・シャッツ、昨秋 IBMA 特別功労賞を受けたマクレイン・ファミリー・バンドなどの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 68 頁。

BU-14/03 2014 年 3 月号 ¥1,080-

毎年恒例の 3 月号楽器特集は 1841-1842 年、C.F. マーティン・シニア作のマーティン&クーパ・ギターを表紙に、マーティン「アメリカギター改革」ほか、ブライアン・サットンとコートニー・ハートマンのエンドースで知られるボージョワーズ、クラブトンのオーダーで有名になったウェイン・ヘンダーソン、バンジョーリム製作家ジム・レイ (Rae)、マンドリン製作のマイク・アンデス (ナッシングファンシーのマンド奏者) の特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 72 頁。

BU-14/02 2014 年 2 月号 ¥1,080-

カントリー業界ともつながりを持った兄妹ザ・ロイズと、マーク・ニュートンとスティーブ・トーマスの新コンビをカバーストーリーに、トニー・ライスの叔父にあたるドブプロ奏者フランク・ポインデクスターほかの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の 54 頁。

BU-14/01 2014 年 1 月号 ¥1,080-

マルフェス特集 (表紙写真はムーンシャイナー 6 月号表 2 と一緒だったぞ!!) のほか、毎週一度のナッシュビル郊外ラプレスカフェからのライブ公開放送「ミュージックシテイルツ」、バージニアのインドアフェス「キャンピングバーベキッキングパーティ」、ペンシルベニ

アの「ブルーグラス・オンザ・グラス」主宰者デビス・トレシーらの特集記事と各種コラムのほか、米国ブルーグラス情報満載の100頁。

■オールドタイム・ヘラルド誌

米国産アメリカンルーツ／オールドタイム音楽専門誌。アメリカ伝統音楽研究に必読の良書!!バックナンバーが揃っています。お問い合わせください。

OTH-1310 最新第13巻10号 ¥1,296-

ジョン・コーヘンが1956年にはじめて旅したアンデス地方ペルーの「オールドタイム音楽」のほか、ビル・キース以前にメロディックなバンジョー奏法を編み出していたといわれるキャロル・ベスト、フィドル奏者フレッド・マクブライド、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.9」、19～20世紀初期写真集など、アメリカンルーツ音楽情報満載の54頁。

OTH-1309 第13巻9号 ¥1,296-

ウエストバージニア州エルキンズのオーガスタヘリテージのコーディネーター、「伝統は過去から生ずるものだが、それは現在に起こっているものなのだ」というゲアリー・ミルネスのインタビューは、ウエストバージニアの音楽伝統とアパラチアにおけるドイツの影響についての2冊の著作が知られているという彼のこれまでのさまざまなリサーチをまとめたメイン特集。そのほか、オスカーシュミット社との訴訟で「オートハープ」を一般名称と勝ち取ったジョージ・オーゼイ (Orthey、オージーかな!?) と彼のオートハープ、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.8」、女性ギタリスト写真集など、アメリカンルーツ音楽情報満載の54頁。

OTH-1308 第13巻8号 ¥1,296-

ブルーグラス女王と呼ばれる「ロンダ・ビンセント：ミズーリのオールドタイムとブルーグラスのクロスロード」をメイン特集に、若いストリングバンド（ベースの代わりにチューバ）のドランケン・キャットフィッシュ・ランブラーズや今年のフェスやキャンプ一覧ガイドなど、アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1307 第13巻7号 ¥1,296-

19世紀初頭以来のモンタナのフィドル伝統特集のほか、ノースカロライナのフィドラー、ハワード・ジョインズ (1908-1981)、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.6」はニューヨーク州の学生街イサカにて、ポール・ウェルズの屋根裏写真コレクションは「ハウのバイオリン教室」

など、アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1306 第13巻6号 ¥1,296-

1927年のビクターレコード主宰のプリストル・セッションの翌1928年、プリストルからわずか25マイルのジョンソンシティでコロムビアが行ったセッションの特集ほか、1970年代にホットマッドファミリーで活躍したバンジョー奏者リック・グッド、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.6」はトミー・ジャレル訪問、ポール・ウェルズの屋根裏写真コレクション古いフィドラーの写真から見るフィドルの持ち方考察など、アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1305 第13巻5号 ¥1,296-

インディアナ州セイラム出身で1930年に8曲、フィドルとバンジョー、ハーモニカ、ジョーズハープ、ジャグなどの楽器を使って録音を残したニコルソンズ・プレイヤーズ。これまで謎だった彼らのことを調べたトニー・ラッセルの力作ほか、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.5」はノースカロライナ州チャペルヒルでのファジーマウンテントの出会い、ポール・ウェルズの屋根裏写真コレクションは「フィドルとフルート」バンド集、など、アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1304 第13巻4号 ¥1,296-

ビル・モンローの"Footprints In The Snow"の原曲を辿っていく興味深い物語のほか、ケンタッキーの伝承音楽やフィドル音楽を蒐集する中心的な役割を担った1946年生まれのジョン・ハーロッドのすばらしいインタビュー、ウォルト・コーケンのハイウッズ・ストリングバンド物語連載「Tales from the Woods Vol.4」は首都ワシントンDCのスミソニアンフェス、ポール・ウェルズの屋根裏写真コレクションは「チェロ」など、アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1303 第13巻3号 ¥1,296-

アルバート・ハッシュ・メモリアル・フェスのレポート、ミズーリ・フィドラーのR.P.クリステンソン、ウォルト・コーケンの連載「Tales from the Woods Vol.3」など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1302 第13巻2号 ¥1,296-

全米フェス&キャンプガイド特集のほか、西アフリカ・ガンビア共和国ジョラ族のアコンティング奏者ラエモウアヒュマ・ジャッタのインタビュー、ウォルト・コーケンの「ハイウッド・ストリングバンドからの逸話②」は「ショッティーシュ (ボヘミア起源のダンス)」など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

OTH-1301 第13巻1号 ¥1,296-

ダン・マーゴリーズ「ハンドメイド弦〜猫と馬の尻尾から生まれる音楽」をメイン特集に、アート・ローゼンバウム「北部ジョージアでの1日」、ウォルト・コーケン「ハイウッド・ストリングバンドからの逸話」シリーズ第1回など、オールドタイム／アメリカンルーツ音楽情報満載の52頁。

月刊『ムーンシャイナー』

1983年11月の創刊以来、毎月発行を続ける日本唯一のブルーグラス専門誌。日米ブルーグラスのホットな話題から、その真髄を探究する月刊誌。

■定期購読：1年¥6,300- 半年¥3,450-

お申込はお葉書やお電話、ファックスやメールでご希望の購読開始月をお知らせ下さい。バックナンバーも含めて、いつからでもご自由です。

■バックナンバー：各¥540-

下記以外にも、アーティストや知りたい事をお知らせ下さい。掲載号を探してお送りします。

MS-3202 最新 2014 年 12 月号 (通巻 374 号) ¥540-

ビル・モンロー初来日から40年大特集！として「ボブ・ブラックの見たモンローとの日本」と、「あなたはモンローを見た……！」第一弾ほか、TARO & JORDANの2ndアルバム「初心」への井上太郎インタビュー、若手バンジョー小寺拓実クンの見たIBMA2015レポート、小野田浩士のバンジョー巡礼の旅最終回は「チャーリー・クッシュマン家訪問」でプリウォーフラットヘッドのトーン比べ、徳島ブルーグラスライブの10年とティム・レイク来日、夫婦デュオの元祖ルルベル&スコッティ物語、小林公恵のウィンディシティ便り「納屋を舞台のローカルフェス」、名古屋大学「洞山遥佳」などの特集ほか、日米のブルーグラス事情満載！

MS-3201 2014 年 11 月号 (通巻 373 号) ¥540-

第25回IBMAアワードショウと米国ブルーグラスの25年特集ほか、第1回岐阜フェスのこと「多治見フェスも遅れば40年」、祝・慶應義塾大学ブルーグラス研究部創部！、北村謙「来日したジョン・ショールに教わったこと」、小野田浩士「バンジョー巡礼の旅Ⅳ」、京都大学「金菱哲宏」、日本ブルーグラス年表「1981年」などの特集と連載コラムほか、日米のブルーグラス事情満載！

MS-3112 2014 年 10 月号 (通巻 372 号) ¥540-

ジェリー・ダグラス来日記念特集の最終版第三弾として「ジェリー・ダグラスとは？」でその人となりや音楽

歴、北大OGのダブル奏者、兼平愛弓「わたしがダブルに恋したワケ」でダブルの魅力に熱く語るほか、ハニー・クッキーズの最新作『Where is My Honey?』、新潟県庁のブルーグラスバンド「グラスピッカーズ」、高知のロンギングフォーザサウスランドvs神大ブルーナイツの父娘競演！「父と娘のイエローリバー」、小野田浩士バンジョー巡礼の旅Ⅲ「ジョージ・バックナー訪問」、追悼・名古屋、明治学院大学「荒川裕史」、日本ブルーグラス年表「1981年」へなどの特集と連載コラムほか、日米のブルーグラス事情満載！

MS-3111 2014 年 9 月号 (通巻 371 号) ¥540-

ジェリー・ダグラス来日記念特集第二弾「ブルーグラスダブルの誕生〜ジョッシュ、マイク、そしてジェリーへ」、ジェリー・ダグラスのフラット&スクラッグス完全コピーバンド「アールズ・オブ・レスター」、福島いわき「鬼ヶ城フェス」へ行こう、久永雅史「あつという間に60年、後編」、ブルーサイド オブ ロンサム「フジロック登場」、水戸レストラン「ホワイト」さよなら、ウィンディシティからブルーグラス便り①、大谷大学「森本晃行」、丹沢ブルーグラス「ケンタッキー制覇旅行⑨」最終回ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁！！

MS-3110 最新 2014 年 8 月号 (通巻 370 号) ¥540-

10月に来日が決定したジェリー・ダグラス歓迎特集第一弾「ハワイアンギター誕生125年からダブルについて」、久永雅史「あつという間に60年、前編」、小野田浩士バンジョー巡礼の旅Ⅱ「アール・スクラッグス・センター訪問」、ジョージ・シャフラー追悼「クロスピッキングター編」、オー！シスタージャンボリー2014レポート、40年目を迎える「札幌ブルーグラスフェス」、バックウッズマウンテニアーズ50周年記念ライブ、学生プロファイル#18 酪農学園大学「矢島佑記」ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁！！

MS-3109 2014 年 7 月号 (通巻 369 号) ¥540-

ジム・ミルズのプリウォーギブソン・バンジョー訪問記「小野田浩士バンジョー巡礼の旅Ⅰ」ほか、ノーム・ピケルニーの「IBMA 演説」第3回は現在米国ブルーグラス事情の最終回、続・レスター・フラット生誕100年特集、追悼ジョージ・シャフラー「ウォーキングベース編」、2014年度新入生歓迎特集④「ブルーグラスとロックの深淵」、美星ブルーグラス ミーティングの25年、フォギーマウンテン・フィドル列伝「アート・ウーテン」、山本容子「N.Y. から、ご趣ください」、神戸大学「矢野晃輔」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載の40頁！！

MS-3108 2014 年 6 月号 (通巻 368 号) ¥540-

レスター・フラット生誕 100 年特集ほか、ノーム・ピケルニーの「IBMA 演説」第 2 回目は驚きの現在米国ブルーグラス事情、来日する ETSU ブルーグラスプライドバンド紹介、追悼・宮崎勝之、2014 年度新入生歓迎特集号③「カントリーミュージック入門」、ネッシー・エクスペディション米国ツアー最終回「ビル・モンローの故郷でフェス」、東北大学「野崎 廉」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3107 2014 年 5 月号 (通巻 367 号) ¥540-

ノーム・ピケルニーのブルーグラスコミュニティへの愛と 21 世紀のブルーグラスについて語る「IBMA 演説」前編をカバーストーリーに、ハンバートハンバート「佐藤良成インタビュー」、レオナ 2ndCD「Love and Peace」、アーニャ・ヒンクル日本ブルーグラス紀行「関西編」、2014 年度新入生歓迎特集号②「フォークミュージック入門」、フォギーマウンテンフィドル列伝④「We'll Meet Again Sweetheart」、草の根ブルーグラス広島しまなみ「追悼・続木敬修」、北海道大学「川口浩平」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3106 2014 年 4 月号 (通巻 366 号) ¥540-

北大トリオのアメリカ冬フェス体験記「ウィンターグラス」のほか、2014 年度新入生歓迎特集号「ブルーグラス入門」、J.P. マティス「日本ブルーグラスと人生最良の一週間」、大野真「大学 4 年どっぷりブルーグラス」、名古屋大学「小杉大智」など若者特集ほか、新潟雅巳「音の暴力復活!」、西宮フォートワースジャンボリーへのお誘い、乙女バンジョー「続アビゲイル・ウォッシュバーン」、丹沢サークル・ケンタッキー制覇ツアーリポート④など、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3105 2014 年 3 月号 (通巻 365 号) ¥540-

アール・スクラッグス・センターを表紙にセンター開館リポート、アールの育った家訪問記、ブルーグラス映画 3 月 22 日封切り!『オーバー・ザ・ブルースカイ』のブルーグラス関連セリフ紹介とインタビューなど特集、2013 年発売レコード総括、J- ポップシンガー、バンジョーアイ (Banjo Ai) デビューと沖縄ブルーグラス、ジム・シューメイトとビル・モンローとアール・スクラッグスの出会い証言からフォギーマウンテンボーイズ結成へ、札幌ブルーグラス物語り #6「最終回」、丹沢サークル・ケンタッキー制覇ツアーリポート③、「KFC 発祥の地とメランジオンの里」、洗足学園音楽大学「山田拓斗」ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3104 2014 年 2 月号 (通巻 364 号) ¥540-

関東の重鎮バンド、ブルーサイド・オブ・ロンサム「in

Oklahoma」のカバーストーリーほか、ノースカロライナってどんなところ? 「アール・スクラッグス生家訪問」、ジム・シューメイトとビル・モンローとアール・スクラッグスの出会い証言集、浪花米国南部系ルーツ音楽祭りレポート、札幌ブルーグラス物語り #5「ニューグラスリバイバル来日」、ジュニア・シスクとジョー・マリnz の元ネタ集、丹沢サークル「ケンタッキー制覇ツアーリポート」②、日本ブルーグラス年表 #72「1978-1979 年」、大谷大学「名取綺更」ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3103 2014 年 1 月号 (通巻 363 号) ¥540-

ジム・シューメイトとポール・ウォーレンに捧ぐ「フォギーマウンテンフィドル列伝」前編、アーニャ・ヒンクル日本紀行「ブルーグラスアクシデント北海道編」、佐藤コウスケ「ゴローショーとエンタメ」、丹沢サークル「ケンタッキー制覇ツアー①」、知っておきたい #6「ブルーグラス・スウィング」、馬渡 浩の札幌ブルーグラス物語り③、「ノースカロライナってどんなところ? ②」、ブルーグラス史観米国史 #44「セシル・シャープとオリーブ・キャンベル」、洗足学園音楽大学「岩本歓喜」ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3102 2013 年 12 月号 (通巻 362 号) ¥540-

IBMA (WoB) 2013 リポート「ノースカロライナってどんなところ?」、女子大生の見た「ワイドオープン・ブルーグラス」、タヒチクラブ「新春★浪花 米国南部系ルーツ音楽祭」、愛媛・朝倉ブルーグラスの 25 年、馬渡 浩の札幌ブルーグラス物語り②、知っておきたい... #5「フラットピッカー達」、日本ブルーグラス年表 #70「1978 年」、3 大学対抗! 年忘れライブ酪農学園大学「花村彩音」ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3101 2013 年 11 月号 (通巻 361 号) ¥540-

31 年目の第 1 号、IBMA 名誉の殿堂入りのセレモニーで「奇跡」を起こしたトニー・ライスのスピーチほか、第 24 回 IBMA アワードショウ・リポート、マイク・コンプトン「ビル・モンローの魂」12 月来日、ブルーグラス☆ボリスのデビュー CD『BG★PC』、馬渡浩の札幌ブルーグラス物語り①、やぎたこ「I'll be home someday」、きたむらいづみ「彦根にアメリカーナ」、ハットアップレイブルーグラス! その伍ほか、日米ブルーグラス情報満載の 40 頁!!

MS-3012 2013 年 10 月号 (通巻 360 号) ¥540-

やりました! 通巻 360 号、購読してくれる皆さん、ボランティアで情報や記事、写真を提供してくれる皆さん、そんなダイハードなブルーグラスファンの皆さんのお陰で 30 年間、何とか持ちこたえました。これからいつま

で頑張れるか、体力と根気の勝負ですかね、こうなると？

ひきつづき皆さんのお引き立てを、何卒よろしくお願い致します。本当に、ありがとうございます!!

記念すべき360号は、日本でデビューして、最年少でIBMA 名誉の殿堂入りをしたトニー・ライズ秘話のほか、1958年に結成されたイースト・マウンテン・ボーイズがIBMA 特別功労賞を受賞するにあたって彼らの年表と紹介、そして日本の戦前・戦後における「洋楽」の受容についての特集記事、中学生ソフィア美玲キャタリナの「ウィザー・フィドル・コンテスト」参戦記、ハットウプレイ・ブルーグラス #4「続アールの日」、最新トラッドグラス事情「レベル・レコード編」、コンサートリポート「mareka & Junji vs 三津谷組」、カーター・ファミリーとボブ・ディラン、東北大「荒川善行」、ネッシーエクスペディション 37年目の渡米顛末記⑤ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3011 2013 年 9 月号 (通巻 359 号) ¥540-

フラットピッキングギターに魅せられた女性レベッカ・フレージャー、その初々しい半生を紹介したカバーストーリーのほか、クレイグ・ダンカン、ビリー・スミス、マイク・スコットらが女性陣ふたりを加え10月はじめに来日。同じ10月、ハンマーダルシマを初めて日本に紹介したカレン・アッシュブルックが来日するのを機に、「ハンマーダルシマ」の歴史と今特集。9月28日に「第4回六甲ブルーグラス・タイムズ」を主催する神戸大学の木村周平。「ハットウプレイブルーグラス」シリーズ3回目になる最新号では、「シラブルで弾く」こととは？ CD+DVDを発表した原さとし (bj) と竹内信次 (m) のトイメンシャオ。ネッシーエクスペディション 37年目の渡米顛末記⑤ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3010 最新 2013 年 8 月号 (通巻 358 号) ¥540-

「ハットウプレイ・ブルーグラス」特集として、ブルーグラス楽器奏法のつかみ方を「岸本一遥のケニー・ベイカーから学んだこと」や「アールの日」のレポートを軸に特集。そのほか、奥 和宏「アメリカン・ルーツミュージック、ディスクでたどるアメリカ音楽史」、全国サイマル放送一覧表とFMはしもと「しもちゃんの“Bluegrass”でナイト」、学生プロフィール #7は首都大学東京「山本南希」、人口16人の瀬戸内海での「斎島ブルーグラス」、ブルーリッジに本拠を置くマウンテン・フィーバー・レコード社、埼玉・狭山市の美食ブルーグラスレストラン「SOFT」、ネッシーエクスペディション 37年目の渡米顛末記④ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3009 2013 年 7 月号 (通巻 357 号) ¥540-

第26回マールフェスリポート」ほか、ジョージ・ジョーンズ追悼「カントリーソング」後編、ジェイコブ・シャープ「ミブソ」来日!、菅沼工房5弦フィドル製作記⑥最終回、井上 高とホームタウンーズ「50年前に活躍したプロのブルーグラスバンド」後編、学生ブルーグラス・プロフィール #6 北海道大学「兼平愛弓」、日本ブルーグラス年表 #65「1977年」ほか、ネッシーエクスペディション 37年目の渡米顛末記③、1911年ビル・モンローの生まれた日ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3008 2013 年 6 月号 (通巻 356 号) ¥540-

北海道の八雲フェステ集のほか、ジョージ・ジョーンズ追悼「カントリーソング」前編、ブルーサイド・オブ・ロンサムと坂本愛江、「Tri Barrel (トライバレル)」尾崎博志、古橋一見、河合徹三、知っておきたい #2「新進気鋭のマンドリニストたち」、菅沼工房5弦フィドル製作記⑤、井上 高とホームタウンーズ「50年前に活躍したプロのブルーグラスバンド」前編、学生ブルーグラス・プロフィール #5 名古屋大学「山田遼一」、日本ブルーグラス年表 #64「1976-77年」ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3007 2013 年 5 月号 (通巻 355 号) ¥540-

「フェスティバル・シーズン到来号」として、ブルーグラスフェスの歴史とウィンターグラス 2013 リポート後編のほか、ブルーグラス・リズムギター上達の近道、サードタイムアウト「ブルーグラスる!?(Bluegrassd)」, 知っておきたいブラザーデュオ一覧、ケンタッキーのモアヘッド州立大学ブルーグラス科を訪ねた川合くんのすばらしいリポート、ネッシーエクスペディション米国ツアー顛末記②、学生ブルーグラスプロフィール #4「米澤 望 (酪農学園大)」, 菅沼工房5弦フィドル製作記④など特集ほか。

MS-3006 2013 年 4 月号 (通巻 354 号) ¥540-

今月久々に来日、東海道をバンジョー行脚するビル・キースの大特集後編、ジェリー・ガルシアやライ・クーダーらとの逸話など、1963年のビル・モンローとブルーグラス・ボーイズの重厚な写真をカバーに、ウィンターグラス 2013 リポート前編、ネッシー・エクスペディション米国ツアー記①、ブルーグラス・アルバム・バンド・リユニオン、マイク伊藤「留学のススメ」、ロストシティキャッツ・リユニオン、菅沼工房5弦フィドル製作記③、学生ブルーグラスプロフィール #3「森山亮治 (大谷大)」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3005 2013 年 3 月号 (通巻 353 号) ¥540-

4月に久々の来日、大阪、京都、名古屋、浜松、横須賀、

東京でワークショップやコンサートをするビル・キースをカバーストーリーに、フルアルバム『Sailing Home』を発表し今月には全米ツアーをする女性トリオ、パイレーツ・カヌー、ハंक・ウィリアムズのセイクレッドソング解説、2012 年年発表レコード総括、菅沼工房 5 弦フィドル製作記②、学生ブルーグラス断簡その巻「松本捺美（神大）と小形奈緒子（東北大）」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3004 2013 年 2 月号 (通巻 352 号) ¥540-

ドプロのマイク・オルドリッジのカバーで追悼特集「ブルーグラスを変えたドプロ奏者」ほか、プラザーデュオ秀作を発表した渡辺敏雄、かつてジューンアップル誌のスタッフだった菅沼利夫「5 弦フィドルへの道①」、ラジオ関西「カントリーミュージック・トラベル」が今年 20 年、950 回目を迎えている DJ 阿部和則のリポート、1946 年のブルーグラス誕生の年にオープリで出会った？ハंक・ウィリアムズとビル・モンローなどの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

MS-3003 2013 年 1 月号 (通巻 351 号) ¥540-

アール・スクラッグスの右手の表紙写真にメイン特集は、村片和彦のアール・スクラッグス奏法解析「俺、アールやもん」と、先月号の 50 年前のフラット & スクラッグス『カーネギーホール』で「マーサ・ホワイト!」を叫んだ本人の当時のリポート「アール・スクラッグス異聞」ほか、市川慎一郎のボジョアギター “Slope D” 「パンジョーキラー」修理リポート、若手ドプロ宣言「ドプロだって主役!」、60 年前の 1953 年 1 月 1 日にアパラチア山中で息を引き取ったハंक・ウィリアムズの最後の 1 年ドキュメント、フットヒル・ドライブ「アメリカツアー記」などの特集ほか、日米ブルーグラス情報満載!!

B.O.M. ご利用方法

ビー・オー・エムのニューズレターはどなたでもウェブサイトでご利用いただけます。ご注文をお待ちしています。

- 1). このニューズレターで紹介する商品は、ニューズレター発行時点で、すべて在庫しています。
- 2). ハガキやお電話、ファックス、E メール等で、6 桁お客様コード番号とお名前と共に、ご希望の商品コードをお知らせ下さい。
- 3). 通常ご注文から 1 週間以内にはお届けします。ただ、レター掲載時には十分な在庫を心掛けていますが品切れになった場合、再入荷を期して発送が遅れる場合もありますのでご了承ください。

- 4). 基本送料は下記の通りです。

CD/DVD 全国均一、1 枚 ¥185-、2 枚 ¥220-、3 枚以上、もしくは ¥8,000- 以上お買い上げの場合、送料全国無料!! (ただし、特定地域、特定商品などについては、別途加算場合があります。お問い合わせ下さい)

- 5). お支払は、品物を受け取られてから 1 週間以内に同封請求書（代金 + 送料 + 消費税）をご確認の上、郵便振替や銀行振込をお願いします。

●郵便振替 = 01160-8-74352

●三井住友銀行・宝塚支店 = 普通 1229492

●池田銀行・宝塚支店 = 普通 2330116

(株)ビー・オー・エム・サービス 宛て

●ジャパンネット銀行 本店営業部（ホンテン）

普通預金 店番号・口座番号 001-1340424

カ) ビーオーエムサービス

●Visa, Master Card, AMEX でのお支払いはご注文時に電話でお伺いいたします。

また PayPal を通じてクレジットカードでのお支払いも出来ます。e-mail で請求書及びお支払い URL をお送りしますのでご注文の際毎に申し出下さい。

ビー・オー・エム・サービスのホームページでは随時、最新入荷案内やニュースを更新しています。ニューズレター、在庫リスト、ムーンシャイナール誌バックナンバーなども紹介しています。最新情報の更新案内をメールでご希望の方は申し出ください。

(株)ビー・オー・エム・サービス

●〒665-0842 兵庫県宝塚市川面 6-5-18

0797-87-0561

(営業時間：月～金の午前 10 時～午後 5 時。なお祝日は休みをいただきます)

●fax.0797-86-5184(24 時間)

●http://www.bomserv.com/

●E-mail : info@bomserv.com